

あの子の飴玉

作
坂本鈴

【登場人物】

齋藤ゆかり

…元AV女優。コラムニスト。女の子向けポルノのネット販売「ラブキャンデー」経営者。

齋藤舞

…諸星書店社員。

齋藤実果子

…声優プロダクション「レモネード」所属。芸名…安達実果子。

水野百合

…声優プロダクション「レモネード」所属。養成所時代の実果子の同期。

篠崎あずさ

…諸星書店バイト。ひかるの恋人。

高村ひかる

…諸星書店バイト。あずさの恋人。

村野聡

…諸星書店店長。バージンのための会員制ネットサロン「魔法使いクラブ」会員。

石川めぐみ

…女の子向けポルノのネット販売「ラブキャンデー」従業員。

安西祐太

…フリーター。枝野の後輩。

園田正人

…バージンのための会員制ネットサロン「魔法使いクラブ」講師。

枝野博文

…バージンのための会員制ネットサロン「魔法使いクラブ」会員。

桜田敏明

…バージンのための会員制ネットサロン「魔法使いクラブ」会員。

月島透

…バージンのための会員制ネットサロン「魔法使いクラブ」校長。

そこはテレビのスタジオ。
コメンテーター1、コメンテーター2、司会1、司会2、とともに、齋藤ゆかりがしゃべっている。

ゆかり 大和撫子とかいって、日本は昔から、女性が貞淑な国だったっていうイメージがあるけどさ、あんなの全然ねっ造なのよ。

全員 へええ。

ゆかり そうよ。銭湯も温泉も男女混浴。お祭りのときは、男女が出会って、林でセックス。ムラには夜這の文化があって、男だけでなく、女も男に夜這いをかける。これが、西洋人を驚かせた日本の女の奔放な貞操観念だったわけ。
なるほど。

全員

ゆかり 結構さ、おおらかなのよ。日本は性に対して。神様も、おおらかだから、セックスは猥褻で、悪いことっていう概念がないから、怒らないのよ、セックスしても、だから、お祭りでセックスしたり、お寺でセックスしたり、神様の前でどんどんやってたわけよ。

司会1 確かにきいたことがありますね。日本の昔のお祭りには、そういう風習があったっていう。

コメンテーター1 そうなんですか。

コメンテーター2 そう。各地でね、そういう風習があったっていいですよ。

コメンテーター1 えー、なんかすごいですね。

ゆかり そういう国で、そういう文化だったのよ。西洋化してからの。明治維新で。西洋的価値に合わないものが「全部野蛮」ってなって、日本人の女に、「貞淑な妻」であることを強要しはじめた。もともとの緩やかな家族制度と婚姻制度が全部排除されて、明治民法の成立で一家の家長に絶対的権力が与えられたときに、「男性による女性の所有」という観念が広く民衆まで一っってひろがってさ。

でも結局これはどういう制度なのかっていうとね、国民を皆武士に、兵士にするのに適した制度よ。徴兵するのに都合のいい戸籍制度、戦闘意欲をそがぬ貞淑な妻、男は外で戦って、無自覚に死んでくれるっていう、そういう制度でしょ。
なるほどねえ。

司会1

ゆかり こんなさ、たかだか明治時代に政治的な力学が働いてねっ造された常識をさ、何百年も前からある日本の古の因習だと思ってる人たちに、「大和撫子的な貞淑な妻であれ」みたいなことを押し付けられてね、「いまどきの若い子は」みたいに言われたらさ、「ちよっと、もっとなんか勉強して」って思うじゃない。

全員 ははあ。

司会 齋藤さんが昔、そういう風に言われて、そう思ったってことですか。

ゆかり そう。わたしがAV女優をやったのも、まあそういうことがあったからだよね。

びっくりさせたかったんだよね。大人を。そりゃ子供じみた話でもあるけど。

A V女優なんてまだちゃんと確立してなかったし、ビデオが始めで、で、新しいことだったからすぐく、おもしろそうって思っ、とにかく壊したかったんだよ。なにかを、で、新しい価値を提示して、びっくりさせたかった。どうだった。

その辺りのことは、新しくでたエッセイにもかいてらっしゃいますよね。

そうね。いままでも別に黙ってたわけじゃないんだけど、今回はすぐく、そのあたりの思想についても詳しく、書いてあります。

ちなみに斎藤ゆかりさんの著書、「元AV女優のフェミニズム」本日発売です。

では引き続き、お話を聞いていきたいと思えます。「この人に学ぶ、社会学」

CMのあとは、いよいよ斎藤ゆかりさんのAV女優時代について、そしていま話題の、ネット販売店「女性向けのポルノのお店、ラブキャンディ」さんのお話です。

暗転。

明りがつくとそこはゆかりの家。

舞、テレビをみている。そこに帰ってくる実果子。

実果子 よく見てられんね、そんなの。

舞 え、なに。

実果子 別に。

舞 えー、いや、別について態度じゃないでしょうよ。なに。

実果子 なんでもない。

舞 なんでもなくないじゃん。

実果子 なんでもないって。

舞 なにキレてんの、は？

実果子 あー、もー、つかかかってこないでよ。

舞 えー、いまのはだつて、どっちが。どっちがつかかかってきてるのさ。

実果子、テレビを消す。

舞 ちよつと、……子供じゃないんだからさ。

実果子 は。

舞 あんたが言いたいのは、結局あれでしょ。お母さんが恥ずかしいってそういうことでしょ。

実果子 普通だからね。わたしが普通だから。お姉ちゃんはわかんないかもしれないけど、

舞 ふつう恥ずかしいから。親がこんな、こんなさあ、

実果子 大人なんだからさ、いい年してお母さんお母さんって、

舞 そりゃ、お姉ちゃんはいいかもしれないけど。

実果子 なにが。

舞 お姉ちゃんは、ヤリマンだから、別にいいかもしれないけど、

実果子 おー、おー、おー、まあ、ヤリマンね。ヤリマンですけど、はい。

実果子 あたしは、困るの、ほんと、一緒にされたくないの。

そこは本屋。本を読んでいる篠崎に高村が声をかける。

高村 なにさぼってんの。
篠崎 さぼってないよ。あの、ほら、斎藤さんのお母さんの、
高村 え。
篠崎 新刊でだから。
高村 あー、でたね、ポップ作る？
篠崎 つくっちゃう？

村野がやってくる。

村野 ちょ、ちょ、ちょ、なにさぼってんの。
高村 え、さぼってないっすよ。
村野 さぼってたでしょ。
篠崎 別にいいじゃないすか、暇なんだし。
村野 だめだよ、そんな、暇だからっていちやいちやしてたら、
高村 いちやいちやしてないっすよ。
村野 してたじゃん。いちやいちや。なに、付き合ってるの。
篠崎 まあ付き合ってますけど。
村野 え、付き合ってるの。
篠崎 はい。
高村 え、付き合ってるの。
篠崎 え。
高村 え、だって、あれ？ あれは、
篠崎 あれは、別に。
高村 別に？
高村 別に、うん。
村野 えー、と。
高村 ……あ、いま、ちよっとポップ作ろうかっていう話をしてたんですけど。
村野 ポップ？

舞がやってくる。

舞 店长、これ、やっぱり数字あわないですね。
村野 え、
舞 はい。たぶん昨日の棚卸のときの、数が、
高村 あ、昨日の棚卸、俺ですね。
舞 ほんと？ ここの数字なんだけどさ、

高村 はい。
村野 ごめん、高村くん、これ一緒に確認してもらっていい？
高村 あ、はい。

店長、高村、バックヤードに去っていく。

篠崎 斎藤さん。
舞 なに。
篠崎 やっぱり、えっちと恋愛って別なんですか。
舞 なに朝から。そりや別でしょ。
篠崎 斎藤さんって、え、斎藤さんって。
舞 なに。
篠崎 いつからそういう考えなんですか。
舞 はじめから？
篠崎 はじめから？
舞 きがつけば？
篠崎 教育ですか。英才教育ってやつですか？
舞 あー、でも妹は処女だよ。
篠崎 え、まじですか、いくつですか。
舞 24。
篠崎 まじか。
舞 やばいでしょ。
篠崎 それは結構あれですね。
舞 しかも、部屋の中BLだらけだから。ひくでしょ。
篠崎 BLって、え、そのコーナーのBLですか。
舞 そうそう。ボーイズラブのBL。
篠崎 実はいまいちわからないんですけど、BLって、なにを楽しんですかね。
舞 ああ、あれはね、安全なところからエロとか恋愛を楽しむ文化。
篠崎 安全なところ？
舞 女に危害がないところ？ ほら、結局男女のエロってさ、主体性が男にあるから、やる、やられるの関係なわけじゃん。女は常にやられる側じゃん。
舞 でもそれやだつ、組み敷かれるのやだつてなったときにさ、「おねえさんが教えてあげるわ」みたいなのに感情移入できるかっていうと、難しいわけよ。自分とその女がかげ離れすぎてるから、そこで、
舞 男同士。
舞 そう。自分が介入しない、安全な場所から考えるわけ。たとえば、ここから、あのバックヤードにいるふたりのことを考える。
舞 店長と、高村くんが……、

音楽。

村野と高村が現れる。

村野 ばか、おまえ、だめだよ、こんなところで。

高村 逃げないでくださいよ。店長、俺のこと好きだって言いましたよね。あれ、嘘だったんですか。

村野 嘘じゃ、ねえけど。

高村 じゃあ証拠。みせてください。いま、ここで。

村野 それは、

高村 できないんすか。

村野 だって、

高村、迫る。躊躇する村野。

高村 わかりました。終わりにしましょう。

村野 え。

高村 俺だってね、不安なんです。これくらいのこと超えられないんだったら、これから先うまくいくはずない。

村野 高村。

高村 なんですか。

急に二人の声が他の役者のアテレコになる。

他の役者 好きだ。

他の役者 ……俺もです。

キスする村野と高村。

声 はい、オッケーです。

そこはスタジオ。実果子と百合、他、沢山の出演者がいる。

出演者たち、口々におつかれさまでした。と行って去る。

実果子と百合が残る。実果子、百合に声をかける。

実果子 ゆっちゃん。

百合 あ、みかりん。おつかれ。現場一緒だね。よろしくね。

実果子 うん。てかゆっちゃんすごいね。メインじゃん。

百合 いやいやいや、BLアニメだから。

実果子 でもさ、すごいよ。

百合 全然だよ。なんか、ブレイクしそびれましたってかんじだよ。そんなことないよ。え、そんなことないでしょ。

百合 いやもう、あるある。全然ある。あ、ねえねえ時間あったらさ、飲んでかない？
ひさしぶりだし。
実果子 あー、ごめん、今日はバイト。
百合 あー、そっか。
実果子 うん。あ、でも明日なら。
百合 ほんと？
実果子 たぶん。ちょっとまって。
百合 うん。

実果子、スケジュール帳を出す。

百合 大丈夫？
実果子 うん？
百合 また新刊でしたでしょ、きみのママ。
実果子 あー、ね。
百合 ブログとかさ、大丈夫だった？
実果子 いやー、やっぱりね、まだあるよ。
百合 まだあるんだ。
実果子 新刊でるとね、なんか、くるね。
百合 どっから調べるんだろうね。うちの事務所は隠してるんでしょ。
実果子 ね。でもまあ、オーディション落ちまくってるのはそのせいじゃないしね。
百合 わかんないよ。
実果子 いやいや、実力実力。まあでもさ、今回やっと役もらえたし、大きい役じゃないけどさ、でも一生懸命やろうって思ってたから、このタイミングでなんか母親のこととか書き込まれると、ちょっと心配になるよね。
百合 そりゃそうだよね。
実果子 あ、明日大丈夫。
百合 ほんと？
実果子 うん。
百合 じゃあ時間と場所メールするわ。
実果子 うん。

百合、みかこ、去る。

インターネット上の腐女子掲示板。女1、2、3、4、5、6、と、舞がい

舞 会社の男子が、すっごいいいカップリングなんですよ。
1 なにそれ。

2 きかせて。
舞 やんちゃ系若いバイト×さえない中途採用のメガネ店長。

きたこれ。

え、どっち？ どっちがどっち？

バイトがタチでメガネがネコ。

そりゃそうだ。

でも逆もありじゃない？

メガネをとったら店長がイケメンでオラオラ系に変身。

それはどうかな。

妄想だから。

でも職場妄想うらやましい。うち女ばっかだし。

おなじく。

でも働く分には男いなくてもいいかも。生身の男苦手だし。

わかる。わたしも。

妄想だけでいいよね。

そう。妄想だけでいい。男とセックスなんて考えられない。

匿名希望さんは処女ですか。

処女です。

あ、処女なんだ。

わたしも処女。

わたしも処女です。BL大好きだけど、男の人は苦手です。

でもヤリマンのふりをしています。

え、まじで。

なにそれ、なんで。

親が元AV女優なんだけど。

すごい。

なまえおしえて。

ごめん、なまえはいえない。

わたし斎藤ゆかりくらいしかわかんない。

全然そんなに有名な人じゃなくて、検索してもでてこないんだけど。

じゃあいいじゃん。

え、それで。

それで結構いじめられて、中学校とかでヤリマンとかいわれて。

ありそうな話。

はいヤリマンですけどなにか、みたいな態度でいたら引っ込みつかなくなった。

w w w w w w w w w w w

でも実際は処女。

そう。でも一回ヤリマンのふりをしちゃったら、言い出せなくて、処女だって。絶対ばれないようにしようとしてどンドンヤリマンのふりをしちゃって、知識に知識

舞 1

舞 6 舞 5 4 舞 3 舞 2 1 舞 6 3 舞 6 5 4 舞 2 舞 3 2 舞 1 2 3 舞 4 1 2 舞 4 3

を塗り重ねてヤリマンのふりをしちやって、もういまや伝説のヤリマンみたいにな
つてる。

伝説のヤリマン。

ちよつとかっこいい。

悪徳金融の借金みたいだな。

雪だるま式の嘘。

でもわかるかも。わたしも会社じゃ経験豊富な部類だと思われてる。

え、なんで。

シモネタ大丈夫だし。

え、なに、これ、処女板なの？ わたしは非処女ですけど居て大丈夫？

大丈夫大丈夫。

わたしは処女。

やっぱり処女が多いの。

リアルヤリマンが通りますよ、と。

でもずつと処女でいいのかなって思うと、不安。

わたしはずつと処女でいい。

ねえ、BLの話しようよ。

ずつと処女は不安。

わたしもずつと処女は不安だから、魔法使いクラブに入った。

魔法使いクラブ？

バージンのための会員制のネットサロン。

なにそれ。

リンク貼りました。

2 3 4 5 6 1 6 5 4 3 2 6 1 5 4 3 2 舞 1 5 4 3 2 舞 4 舞 4 舞

音楽とともに月島が現れる。

月島

バージンのための、会員制ネットサロン。それが、魔法使いクラブです。

「いつ、どこで、どのように、誰と、初めてのセックスをするべきか」という問題は、わたしたちにとって、とても大切な問題です。

しかし、バージンの問題が、はじめに取り扱われることはいままですべてい
いほどありませんでした。一方で、バージンの数は年々と増加をたどり、現在では
20代の男性40パーセント、女性25パーセントがバージンだといわれています。

まさにバージンはサイレントマジョリティ。
もはやバージンは個人の問題ではありません。社会の問題なのです。
たったひとりで解決できることではないのです。

車を運転するために教習所があるように、ロストバージンのためにも訓練所が必要
なのです。魔法使いクラブはそんな思いから生まれた会員制のネットサロンなんで
す。

舞と女1、2、3、4、5、6、拍手をして、去る。

入れ違いに、受話器を手にしたゆかりが登場。

ゆかり あの一、で、具体的にどんな活動をしてらっしゃるんですか。

月島 はい、あの活動といたしましては、バージン卒業のためのテキストを毎週更新するほか、バージンに関する相談掲示板の設置、専門家をゲストに呼んでの講演会、オフ会、相談会を行います。これを、月額五千元でやっております、

ゆかり はい、それで、うちの店に、なんの。

月島 はい、あの、それですね、我々としましては、斎藤様の経営なさっている、女性向けポルノのネット販売店「ラブキャンディ」さんにですね、「現代の性に関する意識の改革」という点におきまして、非常に近い理念を感じておりまして、ぜひ、協力しあって活動できないかと思っております。

ゆかり つまり、会員になってくれそうな女の子紹介してって、そういうことよね

月島 いえ、あくまで、お互いに、協力しあって、という。

ゆかり あ、はい、わかりました。考えときまーす。

月島 あ、あの、あ、あー、

ゆかり、電話を切る。

月島、見えなくなり、いつのまにか、従業員の石川がいる。

そこは、ゆかりの仕事場、「ラブキャンディ」。

ゆかり あー、ちよつと休憩。

石川 鳴りっぱなしですね。新刊でると。

ゆかり 仕事がくるのはありがたいんだけど。

石川 批判もかなり来ますからねえ。

ゆかり またなんか来てた？

石川 来てましたよ。女性の権利を守る会。

ゆかり ポルノ撤廃のための抗議文ね。

石川 はい。

ゆかり 飽きないねえ。

石川 ここすごいですよ。「ポルノを礼賛し、ポルノをベースとした男性による支配的な社会を増長させる行為に対し」

ゆかり すごいね、相変わらず。

石川 まあ、そう見えるんでしょうね。

ゆかり 「ポルノをベースとした男性による支配的な社会を増長」させないための、女性向けポルノ販売なんだけどね。

石川 まあ、そう見えないんでしょうね。

ゆかり まあ昔から、争うもんなのよね、同じフェミニズムの中でもさ。女同士だったらわかるってわけじゃないからね。

石川 でもこれ、女同士でもないですけどね。

ゆかり ん？

石川 連名ですよ。「女性の権利を守る会の会」と、ポルノをみない男子の会」
ゆかり なにそれ。

石川 なんですかね。

ゆかり 調べといてくれる。

石川 はーい。あ、そうだ、ちなみに魔法使いクラブですけど。

ゆかり え。

石川 魔法使いクラブ、調べといてっていったじゃないですか。

ゆかり そうだっけ。

石川 そうですよ。

ゆかり え、全然おぼえてない、そうだっけ。

石川 うそでしょ。わたし、店長に言われたから一応入会しましたよ。

ゆかり 入会したの？

石川 だって入会しないとわかんないじゃないですか。

ゆかり そんなことないんじゃない。

石川 経費でおちますよね。

ゆかり それは事前にいいましようよ。

石川 え、おちないんですか。

ゆかり 考えとく。で、どんなかんじなの。

石川 詐欺じゃなさそうです。

ゆかり そこから？

石川 大事じゃないですか。いろいろ変なのあるんですから、関わって逮捕とかされたら
おわかりますよ。

ゆかり わかった。つづけて。

石川 コンテンツもサービスも充実してますし、価格もすごく安くはないですけど、相談
とかもしつかり乗ってくれるかんじなので、カウンセリング料と思えば、妥当かな
って気もします。性意識の改革という点ではうちと近いところもあると思いますけ
どね。

ゆかり なるほど。

石川 あとは明日オフ会あるみたいなので、経費でおちるならのぞいてきます。

ゆかり オフ会ってさ、なにすんの。はげましあうの？

石川 はげましあうんじゃないですか。だいたいすごい、こじんまりした飲み会みたいで
すし。

ゆかり こじんまり、はげましあうのかな。

石川 こじんまり、はげましあうんじゃないですか。

シーン変わって、そこは居酒屋。桜田、枝野、村野がこじんまりとはげましあ
っている。

桜田 はい、じゃあがんばっていきましようね。

枝野 はい、ほんと、がんばっていきましよう。

桜田 がんばっていきましょね。
村野 はい、ほんと、がんばりましょ。
桜田 がんばりましょ。

間。

枝野 今日ってこれだけなんですかね。

村野 あ、なんか講師の人も顔だせたら、みたいな。

桜田 書いてましたね。

村野 はい。

桜田 え、でも全然ふたりとも全然いけそうじゃないですか。

村野 いや全然、全然なんすよ。ほんと。

枝野 ほんと全然。全然なんです。

桜田 え、でも、なにされてるんですか。普段。

枝野 僕は、バイトです。

桜田 あー。なんの。

枝野 漫喫ですかね。

桜田 あー。

枝野 映画撮りたいと思ってるんですけど。

桜田 へえ。すごいじゃないですか。なんか出会いとかもありそうじゃないですか。

村野 そうですよ。

枝野 いや、でもまだ別に撮ってないんで。

桜田・村野 あー……、

桜田 にいさんは？

村野 あ、あの、僕、本屋さんで店長をしてるんですけど、

桜田 へえ、いいじゃないですか。いい人じゃないんですか。

村野 あー、まあ気になる人はいるんですけど。

枝野 気になる人？

桜田 なんです。ラブですか。聞きましょう、それ。

村野 でもちよつとすごい人で、なんか、伝説のヤリマンとかいわれてて、

桜田 伝説のヤリマン？

枝野 あ、なんかそれ知ってるかも。

村野 え、知ってるんすか。

枝野 都市伝説みたいなやつですよ。え、うそ、あれ、実在するんすか。

桜田 都市伝説？

枝野 なんか、僕がきいたのは、飲み屋でつぶれてる女を介抱しようとする、エロい議論をもちかけられて、論破されて、ホテルに連れ込まれるっていう、

桜田 なにそれ怪談？ 怖い話？

枝野 猥談です。エロい話です。

村野 うあー、あの人やりそうー。

枝野 てか、え、都市伝説じゃないんですか。

村野 そのパターンはじめて聞きましたけど、多分それ、うちの本屋の店員です。

桜田・枝野 まじで？

桜田 え、きいていいですか。やってないんですか。その人とは。

村野 やってないです。

枝野 やれそうじゃないですか。おしえてくれそうじゃないですか。

村野 いや、でもですよ。実際、実際、ビビるじゃないですか。こっちは童貞ですよ。

枝野・桜田 あー。

村野 しかも昼間は全然そんなことないですよ。めっちゃまじめに仕事するんですよ。

桜田 それは逆に、…もえますね。

村野 でしょ。

枝野 もやもやしますね。

村野 そうなんですよ。

舞が来る。

舞 すみませんおくれました。

村野 え？ あれ？

舞 え？

村野 え？ 知り合いですか？

桜田 あ、いや、

舞 あの、え、斎藤さんって、え、もしかして、斎藤さんって、講師だったん、です

村野 か。

全員 え？

村野 (枝野と桜田に) あの伝説の、斎藤さん。

枝野・桜田 ああー。

舞 (なんとなく事態を理解して) はじめまして。魔法使いクラブ講師の、斎藤舞で

す。

桜田、村野、枝野、拍手をする。

別の場所にお洒落な立ち飲み屋が浮かび上がる。

実果子と百合がそこで飲んでいる。

百合 うそ、みかりん、お姉ちゃんもそんなかんじなの？ ママだけじゃなくて？

実果子 うん。

百合 お姉ちゃんはさ、なんでそんななっちゃったの。

実果子 わかんない。けど、

百合 ママの影響？

実果子 だと思っ。

百合 えー。みかりんは大丈夫だよね。
実果子 あたしは大丈夫だよ。
百合 ほんとに？
実果子 え、大丈夫だよ。なに、そんなかんじする？
百合 ううん、そうじゃないけど、でもほら、影響ってこわいっていうじゃない。パパがDVだったら、子供も暴力振るうようになるとかっていうじゃない。
実果子 大丈夫だよ。ていうか、わたし、処女だし。
百合 そうなの？
実果子 うん。
百合 わたしも。
実果子 そうなの？
百合 うん。すごく好きな人ができたら、って思ってるんだけど。

居酒屋。

舞 好きな人ができたら、とかいってたら、一生できないからね、セックスは。できる人もいるよ、もちろん。でもさ、え、いくつ？

枝野 28です。

村野 32です。

桜田 41です。

舞 そこまでこじらせちゃった場合はさ、むずかしいよね。好きな人と初セックス。だって、まずさ、好きな人とかさ、なかなかできないじゃん。

社会人になるとそもそも出会いがないしさ、しかもさ、基本的に、傷つきたくないとか思っちゃうでしょ。恋愛って面倒とかいっちゃうでしょ。でもさ、恋をするっていうのは、傷つくってことだし、人と関わるのは、めんどくさいってことだからね。そういうこといっちゃう時点で、セーブしてるんだよ。怖くて傷つく面倒な恋愛からさ。ちょっと気になるけど、好きってほどでもない、とかいっちゃわわない？あー。

舞 しかもだよ、そんな、傷つくのが怖い恋愛が苦手な人たちのニーズにこたえて、いまなんでもあるじゃん。恋愛ゲームもエッチな動画もたくさんあって、疑似恋愛、疑似セックスできるじゃん。生身の女の子なんてそりやあもう、めんどくさいってめんどくさいに拍車がかかるでしょ。

男子 あー。

舞 そうやってる間にリア充がどうしてるかって、めんどくさいことにとびこんでがんがん傷ついて、恋愛とかセックスとかしてるわけでしょ。ひと昔前なら、お見合いとか、職場の上司がセティングとか、兄弟が友達を紹介するとか、あったけど、そういうのも激減して、いまは完全自由恋愛の時代なの。ロストバージンは自己責任。世は恋愛戦国時代だよ、リア充はそんな時代の百戦錬磨の武将なんだよ。そんな生き馬の目を射ぬくような時代で、武将たちの首をさ、打ち取れるわけ。うーん。

男子

枝野 うちとれません！

舞 うん、いい返事。

枝野 でもあの、じゃあ、どうしたら、いいんですかね。

舞 とりあえず、恋愛のことは置いといて、セックスのことを考えようか。

男子 はい！

桜田 先生にとつて、セックスってなんですか。

舞 まあわたしは、伝説のヤリマンだからね。

お洒落な立ち飲み屋。

百合 その伝説って、どのへんが伝説なの。

実果子 わかんない。けど、なんか、いっぱい、してるんだと思う。

百合 えー。

実果子 ゆっちゃんはさ、あの、何人から、その、ヤリマンだと思う？

百合 何人っていうか、彼氏じゃない人としたら、じゃない？

実果子 そうだよな。

百合 そんなカラオケいくみたいにさ、気軽にいろんな人とするもんじゃないじゃん。

居酒屋。

舞 つまりセックスは、カラオケ。別に、誰と行ってもまあ楽しいし。好きな人とか趣

味が合う人が相手だったら、すごくたのしい。そういうかんじ？

男子 おー。

舞 わたしはってただけだから、別にそういう風に思う必要はないけど、いろんな人が、

いろんな考えだから、

お洒落な立ち飲み屋。

実果子 でもいろんな考え方があるからさ、お姉ちゃんも、別にわるいことしてるわけじゃないんだよね。多分さ、ただえっちなだけで。

百合 え、えっちって、付き合っていない人ともしたくなっちゃうってこと？

実果子 そう。

百合 それはさ、

でも男の人はさ、そういうのも普通じゃん。男はえっちな普通の、みたいな。据え膳食わぬは男の恥みたいな。でも女の人は、えっちだとビッチ！ みたいになるからさ、

百合 でも男の子と女の子はちがうじゃん。

実果子 ……そうだよな。

百合 そうだよ。女の子はさ、やつぱり、それは、だめだよ。我慢しなきゃだよ。安売りしちゃうだめだし、自分を大切にしないとだめだと思う。だってそういうこととしてたらさ、価値が低いって思われちゃうじゃん。そうだよ。

百合 そうだよ。それは自分のことだけじゃなくてさ、周りのこともあるじゃん。家族とか大事な人とかがどう思われるのかとか、考えるべきじゃん。だからわたし、AV女優やる人とか、ちよつと、正直、どうかと思う。言っちゃうけど、みかりんのお母さん、どうかと思う。家族がかわいそうじゃん。みかりんかわいそうだよ。お母さんも、お姉ちゃんもそんなんでさ、うん。いやまあそんなに、それほど、かわいそうってほどじゃないけど。わたし、ブログにかくよ。

百合 なにかくの？

実果子 なんか、わかんないけど、みかりんはわるくないって。

百合 なにそれ、いいよ。

百合 だってなんか、じつとしてられないし。

実果子 だいじょうぶだから。わたしの問題だし。でもありがとう。

百合 みかりん、できることあったらいつてね。なんでも相談してね。

実果子 うん。ゆっちゃん。

百合 なに。

実果子 グラス空いてるよ。

百合 あ。すみません、同じのください。

居酒屋。

舞 同じじゃだめだから。いままでとは。かわらなきゃ、だめだから。だから、みんな

全員 一緒に、この魔法使いクラブで、変わって、童貞、卒業しよう。

全員 はい。

舞 声が小さい。

全員 はい！

居酒屋に園田が現れる。

園田 あの、あ、遅れてすみません、魔法使いクラブの講師の園田です。え？

村野 あ、あー、今日は二人も来てくださったんですね。

桜田 齋藤先生のお話すごくよかったです。

園田 齋藤先生？

枝野 え、あれ、お知り合い、じゃ……、

園田 え、あ、あの、

桜田 あの、伝説のヤリマンの齋藤さん。

園田 あの、僕、なにを隠そうあなたに筆おろししていただいたんです。
全員 え。

お洒落な立ち飲み屋。百合、携帯を見て、

百合 え?? ごめん、わたしちよつと事務所いかなきゃ。
実果子 え。

百合 ごめん、ちよつと、

実果子 いいよいいよ。

百合 ほんとごめんね。あ、お会計。

実果子 いいよいいよ。今度会った時でいいよ。

百合 ほんと? ごめん、多めに請求して。

実果子 そうする。

百合 ごめんね。またね。

実果子 うん、また。

百合、ばたばたと去る。店員がお代わりをもってくる。

店員 おまたせしました。

実果子 あー……、ありがとう。

居酒屋。

園田 ありがとうございます。あなたにとって僕は数あるうちのひとりだと思えますが、僕にとつてあなたとの夜は忘れられない経験でした。あの子の僕は、ものすごく酔っていて、メガネもどこかになくしていて、なんだかいろんなことが、全体的に、とても、あいまいな状況でした。だから、あなたの顔もよくわからなくて、でも、ああ、また会えるなんて、会えてよかったです。あ、でも、あなたは僕のことなんて、おぼえてないですよね。

舞 お、おぼえますよ。

園田 本当ですか。

舞 は、い。

園田 ああ、でも僕ほんとにあのときは、あの、すごく酔っ払ってたので、でもあなたもすごく酔ってらっしゃいましたよね。

舞 え、あ、はい、そうでした?

園田 そうですよ。お店の隅でつぶれてたんで、声をかけたんです。

立ち飲み屋。実果子、酔い潰れている。声をかける安西。

安西 あの、だいじょうぶですか。

実果子　じゃあいこ。

実果子、安西の手をとる。

舞・安西　いや、あの、

園田は舞を連れて、実果子は安西を連れて、去る。

村野　あ。

枝野　いいんですか。

村野　……まあ。

桜田　あの人ですよね。

村野　はい。でも。

枝野　戻ってくるんですかね。

桜田　いや、戻ってこないでしょ。

枝野　え、 HALF HALF くらいじゃないですか。

桜田　いやいや、戻ってこないでしょ。

村野　僕、いつてきます。

桜田　がんばって。

村野　はい。

村野、去る。

桜田　青春ですね。

枝野　そうっすね。いやあ、しかし、女の子いなかったですね。

桜田　そうですね。

枝野　実は結構期待してたんですけどね。

桜田　まあ、そのへんは、ほら、合宿に期待ってことで。

枝野　合宿、いきます？

桜田　そりゃいくでしょ。

枝野　あれ、どうなんですかね。女の子くるんですかね。

桜田　男ばかりいてどうするんですか。

枝野　でも集まってないっばくないですか。

桜田　そうですね。

枝野　だって、

石川がやってくる。

石川　あの、
桜田　はい。

石川 魔法使いクラブの方ですか。
桜田 あ、そうですね。
石川 すみません、おくれました。
枝野 あ、魔法使いクラブの？
石川 はい。
桜田 ああ、どうぞどうぞ。
石川 すみません。えっと、ふたり？
枝野 さつきまで結構人数いたんですけど、
桜田 そうそう、講師の方とも来てもありあがってたんですけど、ちょうど、いま、ちょっと。
石川 そうだったんですね。あー残念。え、どんな話してたんですか。
枝野 セックスは、カラオケだ、とか。
石川 え？
桜田 あの、女性の性の主体性、とか、ですかね。
石川 へえ。
桜田 講師が女性の方だったんで、
石川 そうだったんですね。
桜田 おもしろかったですよ。ねえ？
枝野 ー。
桜田 あれ？
枝野 いやあ、俺は、実は結構ひきました。
桜田 え、そうだったんですか？
枝野 いや、いいんですよ、いいんですけど、でも、正直言って、自分の彼女がああいう感じだったら嫌だし、なんだかんだいって、中古より新品がいいじゃないですか。
桜田 そういうのよくないですよ、その、女性をものに例えようっていう、
枝野 いや、そういうわけじゃないんですけど、え、でもぶっちゃけ、実際、いやじゃないですか。誰とでもやる女の人って。
桜田 ー、でもそれを、誰にも相手にされない僕たちがいうかっていう。
枝野 それはだって、またちょっと、違う話っていうか。
桜田 違う話じゃないですって。だって、じゃああなたの言い方にあわせてですけど、中古って、え、中古ってどういう意味かわかってますか。
枝野 使い古しってことですよね。誰かの。
桜田 ニーズがあって、市場に出て、買い手がついて、リリースされて、まだ買い手がある。価値が高い商品ってことですよ。
枝野 でも新品のほうがいいじゃないですか。好き好んで中古を買う人なんて居ないですよ。
桜田 じゃあ新品ってなんだっていう話なんです。ニーズがなくて、市場に出ない、流通しない商品っていうのは、新品ではないんです。それは在庫です。僕たちはね、在庫なんです。在庫が、在庫ごときに、人気のリサイクル品にけちつけるなんて、それはあなた、道理がとおりませんよ。商売をね、なめちやいけませんよ。

枝野 ……すみません。
桜田 あ、いえ。
枝野 あの、僕、
桜田 はい。
枝野 帰ります。
桜田 え？
枝野 おつかれさまでした。
桜田 ちよつと、あの、あ、

枝野、去る。

石川 帰っちゃいましたね。
桜田 なんか、すみません、あの、僕、実家がリサイクルショップやってたんで、
石川 あー、それで、
桜田 中古って言葉に、こう、反応してしまって、カーツとなつてしまつて。
石川 なるほど。でもあの、おもしろかったです。
桜田 いや、そんな、
石川 ほんとに。まあ商品に例えるっていうのは、あんまり、良くない気がしますけど。
桜田 そうですよ。すみません。
石川 あ、でも、もともと、往々にして、女性は商品としてみられるじゃないですか。普通に。商品価値があるから。実際に。でも男性は、みられないじゃないですか。あんまり、商品としては、でもそこに差別があるって思つて、
桜田 はい。
石川 でもその点、いまの話はすごく、フェアで。自分自身も商品として換算するっていう視点があつて、その、フェアだなんて思いました。
桜田 ありがとうございます。あの、でも僕、全然フェアじゃなくて、フェアじゃないから、なるべくフェアでありたいって思つて、女性に対して。僕たちは、すごく受けすぎてから、メッセージを。女の人を、モノのように思えつて、商品だと思つて、そういうメッセージを、社会からすごくうけてると思ふんです。無意識にですけど、でも過剰に。
石川 はい。
桜田 だから脱却したいんですよ。思わされてること、から、自由になりたい。自由になつて、女の人と、本当に、ちゃんと、愛し合いたいし。もともとの欲望に出会いたいっていうか、
石川 変わってますね。
桜田 すみません。なんか、初対面でもうべらべらべら。なんだろ、話しやすくて。
石川 いえ。あなたみたいな人、はじめて会いました。
桜田 僕もです。

恋の予感が走る。

桜田 あ、あの、僕、桜田っていいいます。
石川 石川です。
桜田 ちよつとまってくださいね。
石川 あ、わたしも。

桜田、名刺をとりだす。石川も名刺を取り出す。
名刺交換をするふたり。

石川 「ポルノをみない男子の会」
桜田 「女子のための、ポルノのお店」

ふたり、顔を見合わせる。
暗転。

ポルノを思わせる男女のあえぎ声。
ゆっくりと明りがつくと、そこはラブホテルである。
ベッドに座ってAVをみている実果子と安西。

安西 あの。
実果子 なに。
安西 コレ消していいですか。
実果子 なんで。
安西 いや、
実果子 嫌い？
安西 まあ、はい。
実果子 え、嫌いなのか？ うそ、なんで。
安西 嫌いっていうか、いや、あの僕、映画が好きで。
実果子 うん。え、だから？
安西 AVってなんか、雑なんですよね、つくりとか。なんで、そういうの気になっちゃうっていうか。
実果子 あー。
安西 はい。
実果子 いやでもき、カメラワークこってるやつとか結構あるし、案外こだわって作ってたりするよ。CG使ってるやつだっただけあるし、
安西 そうなんですか。
実果子 そうだよ。
安西 くわしいですね。
実果子 まあ。
安西 え、もしかして、あれ？ 業界の方ですか？

実果子 違うよ。別に、ただの趣味。
安西 変わった趣味ですね。
実果子 うん。まあ。
安西 なんて、そういう趣味なんですか。
実果子 あー、うん、なんかね、実はわたし、親が元AV女優で。
安西 え？ え、マジですか。
実果子 まじ。びびるでしょ。
安西 びびりますね。てかそれって、え、大丈夫なんですか。ていうか、え、どんなかんじなんですか。
実果子 まあ、そりゃあ、嫌なときもあるし、仕事に影響したりするし実際、結構迷惑だし、むかつくときもあるんだけど。
安西 はい。
実果子 でも個人的には別に、いいんじゃない、みたいな。
安西 まじですか。
実果子 うん。お母さんの人生だし。
安西 へえ。
実果子 ていうかね、なんか、観たのよそれ。ちっちゃいときね。
安西 そのお母さんのビデオですか。
実果子 そう。
安西 えええええええ、いやそれ絶対嫌ですけどね、僕、いや、ホント、ええええええ。
実果子 うん、まあそうだと思うんだけど、でもさ、ほら、ちっちゃいときだったから、逆に？ なんか全然そんな感じじゃなくて、
安西 どんな感じだったんですか。
実果子 ……めっちゃ興奮した。
安西 へええええええ。
実果子 で、まあ、はまった、みたいな。趣味、AV鑑賞、みたいな。
安西 なんか、すごいですね。早いですね。性の目覚めが。
実果子 なんか、あれだね、遅そうだね。
安西 そうですね、僕すごく遅くて。
実果子 へえ。ねえ、じゃあさ、はじめてえっちらしたのっていつ。
安西 まだです。
実果子 え？？
安西 はい。
実果子 え、童貞？ 童貞ってこと？
安西 はい。
実果子 まじで？ まじか。え、まじか。
安西 だめですか？
実果子 いや、だめっていうか、
安西 いや、いいですよ、僕は、童貞が無理とかでも別に全然、はい。
実果子 そんなこといってないじゃん。

安西 いいですって。ていうか僕のほうだって、そんな、会ったばかりでこんなところに来る女性とか、ちよつと、ちよつとなに？

安西 いや、

実果子 なに。いつてよ。ビッチは嫌ってそういうこと。

安西 そういうわけじゃないんですけど。

実果子 いやそういうことでしょ。

安西 そうじゃなくて、ただ、ちよつと、ちがすぎるじゃないですか。

実果子 だから。

安西 こわいんですよ。僕だって。

実果子 意気地なし。

安西 ……。

実果子 こんなところで女の子と二人でこんなを観ててき、むらむらしなの。

安西 いや、それは、まあ、僕も一応男なんで。

実果子 だ。あたしそういう言い方するやつ嫌い。

安西 そういう言い方？

実果子 男だから、エロい、みたいなの。エロいのは性別のせい、みたいな。

安西 ああ。

実果子 別にさ、女もエロいから。でも女はさ、「わたしも女だからエロい」って言い方しないじゃん。てか、できないじゃん。だからエロにたいして、そういう言い訳しないほしい。男の子も。ずるいじゃん。なんか。

安西 でも女の人もずるいですよね。そういうの。

実果子 え。

安西 エロくない男のことは責めるじゃないですか。「意気地なし」とか、

実果子 あー。

安西 でも男は、言わないじゃないですか女の子に。意気地なし、とは。

実果子 まあ、いわないね。

安西 だから女の人も、ずるいと思います。

実果子 うん。ごめん。

安西 いえ。

実果子 あのさ、じゃあとりあえず、キスしてみない？

安西 え。

実果子 試してみない？ 怖いとか、それ思い込みかもしれないし。怖くないかもしれないし。

安西 え、いや、でも、

実果子 だって、わかんないじゃん。自分のことなんて、自分ひとりじゃ。自分が本当はなにが好きで、なにが嫌いで、とかだって。自分以外のものに触ったり食べたり関わったりしないと、わかんなくない。

安西 それは、たしかに。

実果子 だからとりあえずさ、キス。

安西　　キス。
実果子　キス。キスだけ。そこから先は、その後、考える、みたいな。
安西　　キスカあ。
実果子　　どう。
安西　　じゃあ、お願いします。
実果子　　よし、どんとこい。

おそろおそろ、安西は実果子にキスをする。
二人は、はにかんで笑いあい、何度かキスをする。
そのうちに、キスがだんだん激しくなっていく、暗転。

明るくなると、そこは本屋。高村と篠崎が棚の整理をしている。

高村　　まってまってまって、え、それで、やっちゃったってこと？　他の男と？
篠崎　　ひかる君には関係ないじゃん。
高村　　関係なく、なくなかない？
篠崎　　は？
高村　　関係なくなかない？
篠崎　　それって関係ないってことだよな。
高村　　あれ？
篠崎　　あたしたち付き合っていないんでしょ
高村　　そうだよ。うん、そうだけど、そうだけど、
篠崎　　だったら関係ないじゃん。
高村　　え、だってさ、それって、ビッチってこと？
篠崎　　あたしがビッチだったら、ひかる君はなんなのさ。
高村　　俺はまあ……なんだろうね。
篠崎　　やりちゃん？
高村　　ちよ、女の子がそういうこと言うのやめなよ。ひくわ、マジで。
篠崎　　あ、男女差別。
高村　　それさ、その本の影響？
篠崎　　ちがうよ。
高村　　でもそんなんじゃないかったじゃん。
篠崎　　だとしてもさ、ひかる君には関係ないじゃん。
高村　　もつとき、自分を大事にしなよ。
篠崎　　生でしようとしといてよく言うね。
高村　　いや、それは、
篠崎　　ちなみにわたし、ピル飲んでるし、自分のこと大事にしてるから。ひかる君こそ、そ
んなにルーズにえっちしてたら、女の子妊娠させて一生棒に振るんじゃないの。
高村　　……。
篠崎　　もつと自分を大事にしなよ。

そこに村野。

村野 ちよちよちよ、え、なに職場で修羅場ってんの。

高村 別に修羅場ってないっすよ。

村野 いや、修羅場ってるじゃん、なに、付き合ってたんじゃなかったの。

高村 まあ付き合ってたんですけど、

篠崎 あたし、休憩いつてきまーす。

村野 あ、うん。え、まだ、

高村 俺も。

村野 ちよ、えー。

篠崎、高村、去る。そこに、舞。

舞 あれ、二人とも休憩ですか。

村野 はい。

舞 早い、ですよね。

村野 まあ。

二人、仕事をし始める。小声で。

村野 あの、昨日はありがとうございました。講義。

舞 あ、いや、こちらこそ、送っていただいて、ありがとうございました。

村野 あの、昨日のことって、考えてもらえました？

舞 いや、あの、あれつつまり、やりたいってことですか、わたしと。

村野 あ、いえ。付き合いたってことです。好きです。

舞 でもあたし、伝説のヤリマンですよ。

村野 はい。まあ、それも含めて、はい。

舞 それは、でもそれはやっぱり、やりたいだけです。店長は童貞だから、わたしで筆おろししたいだけなんです。合宿とかあるんだから、いいじゃないですか。それは、合宿ですませれば、いいじゃないですか。

村野 あの、迷惑なら、謝りますけど、でもあの、僕の気持ちを勝手にきめるのは、やめてもらっていいですか。

舞 ……。

村野 あ、いらっしやいませー。

村野、去る。舞、しばし村野のほうを見つめ、反対側に去る。

シーン変わって、そこは魔法使いクラブ。園田と月島、ハンバーガーを食べながら、パソコンを見ている。

園田 やばくね。
月島 やばいね。なにがやばいって、男子はめっちゃ集まってる。
園田 わー。
月島 で、女子が全然。というか、ほとんど、まったく。
園田 女子も会員は一定数いるんですよ。
月島 会員はね。でも合宿はね。だめ。ほぼ全滅。
園田 まあでもそうだよ。普通に考えたらさ、いやだよ。そんな合宿で童貞捨てようとする男、ろくなのいないでしょ。
月島 そういうこと言うなよ。大事な会員様だぞ。
園田 企画に無理があったってことだよ。2泊3日、パートナーをみつけて、童貞処女を卒業しようってさ。
月島 でも一応、ロストバージンしたいっていう会員が男女ともに一定数いるわけだからさ、需要と供給を考えたらさ、マッチしてるんだから、じゃあ、合宿しようかって、それは普通のながれじゃない？
園田 それが男子高出身同士で立ち上げてる法人の限界ってやつなのかなあ。
月島 は、なにが。
園田 発想が。女の発想がないんだよ、俺たちは。女からしたらさ、やっぱり怖いよ。処女を捨てる相手としてはさ、よく知らない童貞はさ、適さないよ。
月島 でも童貞を捨てる相手としては、よく知らない処女でいいんだろ。
園田 そうだね。
月島 じゃあ処女を捨てる相手としてもさ、
園田 って、思っちゃったんだよね、俺たちは。ばかな俺たちはさ。
月島 いやいやいや、まあ、そりゃあ、あるよ、わかるよ、その、差があるっていうのはさ、でもさ、そういう、差？ 垣根？ を、越えて、バージンっていうのを考えて、フェアにロストしようってことをさ、ずっと、してきたわけじゃん。長い時間かけてさ、伝えてきたじゃん。
園田 まあでもそれは、もう全然、まったく伝わってなかったってそういうことでしょ。
月島 あー、結局さ、変えらんないのかな、俺たちに、社会なんてさ。
園田 えっと、おセンチなところ悪いんだけど、とりあえず対策考えようよ。これ割と魔法使いクラブ自体の目玉企画でもあるからさ、目当ての会員さんもいるわけじゃん。まあね、かなりいるだろうね。
月島 で「はい、集まらなくて中止」とかさ下手したら訴えられたりするんじゃないの。
園田 訴えられたりはしないでしょ。さすがに。
月島 わかんないよ、なんか、もう訴えるの趣味みたいなやついるじゃん。
園田 あーまあね。
園田 童貞こじらせた奴なんてもうやばい奴ばかりなんだからさ。
月島 おまえ、ほんと、そういう発言どうかと思うよ。魔法使いクラブの講師として。
園田 月島はさ、現場に出てないからそういう風に言えるんだよ。昨日のオフ会だってさ、あ、オフ会はどうだったの。脈ありの女の子とかいなかったの。
園田 昨日のオフ会は感動の再会がありました。

月島 感動の再会？

園田 伝説のヤリマンに、あった。

月島 は？ おまえの筆おろしの？

園田 そう。

月島 きてたの？

園田 うん。

月島 なんで？

園田 いや、

月島 あー、そういうこと？ そうか、それは脈ありじゃん。

園田 なんの話？

月島 伝説のヤリマンって、斎藤ゆかりの娘だろ。

園田 知らない。

月島 なんてお前が知らないんだよ。

園田 なんて月島が知ってるの。

月島 有名じゃん。俺の後輩、伝説のヤリマンの同級生って言ってたし。

園田 え、じゃあ、あれ？ 昨日彼女が来たのは、

月島 斎藤ゆかりさんがよこしたんだろ。様子見のために。

園田 ……脈ありだね。

月島 脈ありだろ。ちよ、電話しよ。

園田 うん。

月島、園田、去る。

桜田がやってくる。机の上のハンバーガーを手に取り、一口齧り、机に乗る。

桜田

ファーストフードはなぜ早く食べられるか、というと情報量が少ないからです。

ファーストフードをどれだけゆっくり食べても、たいして味わうことができません。

反対に、吟味された食材、磨かれた技術で調理された料理は情報量が多く、味わわなければ食べられません。

しかし、たとえそういった情報量の多い料理であっても、ファーストフードしか食べていないような貧乏舌だったら、正しく味わうことはできません。味わうためには訓練が必要なんです。

ポルノというのは、まさしく、ファーストフードです。

性的な関心を「女性を支配する」という単純化した欲望として形づくられた、さっさと射精をするために作られた男性のためのファーストフードなのです。

ポルノに飼い慣らされてしまうと、豊かな、あまりある情報量の生身の人間を前にしても、それを支配や射精によってしか咀嚼することができなくなってしまうのです。

そして僕も、これまでポルノでしか性的な知識を得ていませんでした。そして実際の生身の女性が持つ情報量を受けるだけの訓練が全く足りていませんでした。

それは性的な関心ばかりでなく、そして女性と限定するものでなく、広く人間を理解するための訓練が欠けていたといえるでしょう。

だから僕は、人間という、とてつもない情報量の塊の前に思考停止してしまうんです。そして、男だ、女だ、味方だ、敵だ、優秀だ、バカだ、使える、使えないと単純化し、ファストフードのようにしか人間を味わえないんです。人間は、理解できないほどの情報量を持つ存在だというのに、その多過ぎる情報量を前に理解することそのものを諦めてしまうんです。

昨日の僕もそうでした。

あなたというとてつもない情報量の生身の女性を前に、尻込みしてしまった。

男だから女の人をリードしなくてはならないという思い込みも働いた。そして、どんな焦ってしまったって、結果、昨日のようなことになってしまった。

もし、昨日の僕が男だとか女だとかにとらわれず、あなたと僕、という風に考えることができたなら、もつと、自然に、愛し合うことができたんじゃないか、僕たちの形で、僕たちの時間を過ごすことができたんじゃないかと、とても後悔しています。自分が至らないせいで、あなたに恥をかかせてしまって、昨日は本当に大変失礼いたしました。

でももしチャンスがいただければ、もう一度お会いできないでしょうか。

メールの受信音。石川があらわれる。

石川

丁寧なメール、ありがとうございます。男性自身がポルノから受ける影響とそれからの脱却というテーマ、とても興味深く拝見いたしました。

ポルノに男性における女性の支配という思想が色濃くあり、それによる悪影響があるということについては、わたしたちも同様に感じております。

わたし自身の話をする、わたしは、実はSMでいうところのMの気がものすごく、強いのですが、これも、もしかしたら、ポルノの影響で、「男性に支配されたい」というふうに使われているのではないかと、思っています。わたしも、ポルノに支配されている一人なのかもしれません。昨日のことは、わたしのそういう部分も、原因だったのではないかと思っています。あなたに男性的で強くあることを強要しプレッシャーを感じさせてしまった結果、あなたの元気をなくさせてしまったのではないかと思ひ、責任を感じています。

でもわたしもあなたとだったら、ポルノに出会う前の自分の欲望を見つけ出し、なににもとらわれない、わたしとあなたの時間を過ごすことが出来るのではないかと夢見ています。お誘いありがとうございます。近々、またお会いしましょう。

ふたり、見つめあう。

そこに、ゆかりがやってくる。

ゆかり

おつかれー。

石川

あ、おかえりなさい。

ゆかり 石川ちゃん、いまなに中？
石川 メール中です。

石川、パソコンの席に戻る。
桜田、あわてて去る。そこは、ラブキャンデーの職場になる。

ゆかり 忙しい？

石川 いや、いま、おわりました。

ゆかり あ、ほんと？ ちょっと休憩しようよ。コーヒー買ってきたからさ。

石川 あ、ほんとですか。うれしい。

ゆかり あとさ、ホームページのことで、頼みたいんだけどさ、あとでその時間つくってもらっていい？

石川 はい。あ、あのポルノを見ない男子の会ですけど、

ゆかり ああ、あれ、調べてくれてありがとう。すごいわかりやすかった。

石川 そうですか、よかったです。

ゆかり でもわたしあーゆーの嫌いだよ。

石川 え、なんでですか。

ゆかり だってあれ被害者の会でしょ。ポルノをみた男子の被害者の会みたいなかんじでしょ。女性を支配したいという形で性欲をもっているのはポルノのせいだ、っていう。

石川 ああ、まあ。

ゆかり 殺人をおかしたのは、ゲームをやりすぎたからです、みたいな。

石川 ああ。

ゆかり その、自分の性欲における悪い欲望は全部ポルノのせい、みたいなのもって、なんだろうねえ、気持ち悪くない？ ひとのせいだよ、みたいな。

石川 え、でも実際、そういう影響はあるってことで、わたし達だって、お店やってるわけじゃないですか。そういう価値感への抵抗ってことで、

ゆかり そりゃあね、影響はあると思うよ。もちろん、すごく。だから、観ないなら観ないでいいんだけど、観たい人のことはほっとけよっていうか。なんかね、ひとのやることにうだうだ文句つけてやめさせようとする奴ら、嫌いなんだよね。基本的にさ。ほっときなよ。そしてほっといてよ。みたいな。

石川 ゆかりさんってそういうところ、すごくなんか、個人主義的ですよ。

ゆかり だって、わかりあえないじゃん。人間同士なんてさ。そしてみんなと、わかりあう必要もないじゃん。わかんない奴にわからせようとするのとかって、ロスだと思うんだよね。わかる人だけわかればいいし、いろんな考え方があっていいし。もう「それぞれ勝手にやろうぜ」っていうのが大好きだからさ。男は男向けのファンタジーのポルノを見て、女は女向けのファンタジーのポルノをみて、お互いそれはファンタジーだってことがわかってれば、まあそこそこフェアな形になると思うし、それでいいじゃんって思っちゃうんだよね。

石川 まあ、それは、わたしもそう思いますけど。

ゆかり で、話は変わるんだけどね、このまえのオフ会、ほら、魔法使いクラブの。

石川 はい。
ゆかり 石川ちゃんが潜入したのばれてたみたいで。
石川 え。

ゆかり 魔法使いクラブさん、このまえまた電話してきて、オフ会に遊びにきてもらったみたいで、っていわれた。
石川 まじか。

ゆかり まあ、そう言われたらうちの子がお世話になりました。ってことでさ、話の流れ上、仕事が増えたんだよね。
石川 なにするんですか。

ゆかり 結局女の子の紹介だよ。今度ロストバージンのための合宿を企画してるんだけど、全然集まらないとかいってさ。
石川 それ、集まんなそうですな。

ゆかり ね。でもうちのお客さんは興味ある人いそうだし、声掛けたらそこそこ人集まると思うんだよね。
石川 まあ確かに。

ゆかり とりあえず紹介文書いたから、ホームページリンク貼って紹介ページつくつといて。
石川 はい。
ゆかり でも時代もかわったねえ。ロストバージンしたいっていう女の子がわんさかいるって
ゆかり いうのはさ。

石川 昔はちがったんですか。
ゆかり ちよ、昔っていうのやめてくんない。そんなに昔じゃないんだからさ。
石川 すみません。

ゆかり まあ、でも、石川ちゃんにとってはね、昔だよな、大昔だよな。
石川 いや、そんなことないです。すみません。

ゆかり 昔はさ、わたしがAV女優だったときはさ、若いうちにとつとロストバージンした
ゆかり いてっ子はね、あんまりいなかったと思うんだよね。少なくともわたしの周りには
ゆかり なかった。婚前交渉絶対だめってことはなかったけど、でも基本的に、結婚を前提に
ゆかり してたんだよ、セックスは。ただ、ひとりくらいなら、経験してもいい、とか、二
ゆかり 人まではギリセーフとか、そういう感じがあつて、でも三人いたらもう、アウトだよ
ゆかり ね。淫乱だよな。それはだめだよって、まあ、そういう価値観よ。
石川 へええ。

ゆかり 処女膜再生手術とかもあつたしね。ああ、そう思うとやっぱり婚前交渉だめっていう
ゆかり 雰囲気も全然残ってたってことだよな。
石川 処女膜再生手術って、ただの早口言葉だと思つてました。

ゆかり ほんとにあつたんだよ。処女膜再生手術中。
石川 切開手術は聞いたことありますけどね。処女膜切開手術。
ゆかり え、なにそれ。

石川 処女をばれずにセックスするために、処女膜切開手術。
ゆかり ほんとにあるの。
石川 はい。

ゆかり まじで。本当にバージンにステータスはないんだね、いまの時代は。
石川 ー、まあそれこそ価値が多様化してるんで、ひとことには言えない感じもしますけどね、処女厨とかいるんで。

ゆかり 処女厨？

石川 処女信仰のおたくの人たち、みたいな。

ゆかり へえ。

石川 でも、処女は重たいみたいない感じもありますね。

ゆかり えー、なんか難しいね。わたしたちのときはさ、なんやかんやで処女はマルで淫乱はバツだつてはつきりしてたわけだから、社会にあわせるにせよ、社会に抵抗するにせよ、立場ははつきりしてたわけだけど、いまはさ、結局淫乱万歳つてわけでもないし、処女だつて恥ずかしいわけですよ。おきどころがさ、難しいよね。正解がないっていうか、まあ、4、5人、とかがいいんじゃないですか。

ゆかり 微妙。なんかそれはそれで大変だよ、いまの子たちは。

石川 まあそんな、そうでもないですけどね。

ゆかり いまの子たち、ていうかうちの子たちか。

石川 え。

ゆかり 極端だからさ、うちの子、ふたりとも。

石川 あー、いつてましたね。

ゆかり 親の影響もあるんだらうけど。

石川 そのへんの話さらないんですか。

ゆかり 上の子とは話すんだけどね、下の子はあんまり。なんだろうね。反抗期？

石川 長くないですか、反抗期。

ゆかり そうなのよ。大変なのよ、お母さんは。さて、休憩おわり。やっちゃいますか。

石川 あ、タバコ吸ってきていいですか。

ゆかり 一本だけだよ。

石川 はい。

ゆかり あー、あたしも吸っちゃお。

石川、ゆかり、奥へいく。

入れ替わりで安西と枝野と高村。そこは場末の喫茶店。

枝野 逆ナンってこと？ 逆ナンってことでもいいの？ それは。

安西 はい。まあ、たぶん。

高村 それで。

安西 それで、ホテルに行つて、

枝野・高村 で？

安西 で、キスして、

枝野・高村 で？

安西 で、はい。

高村 ……やっちゃったの。

安西 やっちゃいました。
枝野 まじで？ え、まじで？
高村 先輩、やばいじゃないっすか。先こされちゃったじゃないっすか。
安西 お先に失礼します。
枝野 うわあ、むかつく。
安西 すみません。
枝野 あやまんな。
高村 で、撮ったっていうのはさ、そのときに撮ったってこと？
安西 はい。そのときに、撮りました。
高村 まじで。まじで撮ったの。
安西 あ、結構、ちゃんと、撮れてました。顔とかはあんまり、わかんないですけど。
枝野 それはさ、合意のうえ？
安西 盗撮です。
高村 さらっというけど犯罪だからね。
安西 まあそうなんですけどね。
枝野 ばれなかったの。
安西 と、思いますけどね、たぶん。
高村 おまえさ、度胸あんね。
安西 そうですか。
枝野 はじめてでしょ。
安西 はじめてですけど。
枝野 それどころじゃなくね？
安西 あー、でも決めてるんで。最初のことは、なんでも、撮影しようって。覚えてればいいんですけどね、忘れちゃうじゃないですか。最初の感動みたいなやつ。でもそれ覚えとかなないと、作れない気がしません？ 映画とか。
高村 お前すごいね。俺いまちよつと感動したわ。
枝野 俺も。
安西 でもあの、なんか、朝になったらいらなくて。
高村 え、その逆ナンの子？
安西 はい。連絡先も聞いてなかったし。
高村 へえ。でも逆ナンでしょ。ま、そういうもんじゃない？
安西 いやでも、ひどくないですか。僕はじめてだったのに、はじめてで、やり捨て、とか、ひどくないですか。
高村 いやいやいや、おまえそれ、完全に女子の台詞だかんね。
安西 それってなんかおかしくないですか。
枝野 おかしくない。処女には価値があるけど、童貞には価値がない。以上。
安西 えー。
枝野 てかいいじゃん、やれたんだからさ。
高村 そうだよ、お前先輩をしろよ。先輩はこっからずっと童貞かもしれないんだぞ。
枝野 おまえさ、ほんと結構ひどくない。

高村 いやいや、これでも心配してんすよ。俺的に、結構ガチで。
枝野 ありがとう。でも心配ご無用だから。俺ももうすぐ童貞卒業予定だから。
高村 え、なんすか、誰かいるんすか。
枝野 うん。

安西 え、誰ですか。

枝野 まあ、誰かっていうのはまだ、わからないんだけどね。

安西 え、あ、プロの方……？

枝野 ちげえよ。合宿があるんだよ。

安西 合宿？

高村 うっそ、結局いくんすか、それ。その詐欺みたいなやつ。

枝野 詐欺じゃねえから。

安西 え、なんすか。

枝野 だから、合宿。実践合宿。男女混合。二泊三日で、相手をみつけて、ロストバ―ジ
ンしましょうって。

安西 それ、え、それ大丈夫なんすか。なんか怪しくくないですか。

高村 でしょ。

枝野 大丈夫大丈夫。なんかね、ちゃんとしてるとこだから。

安西 でもそれ、え、やばいですよ。発想がやばいですよ。

高村 でしょ。

枝野 いやほんとにね、なんか、大丈夫なとこだから。

安西 えー。でも女の子集まんなくはないですか。男はともかく。

枝野 それもね、なんかちゃんと集まってるらしいよ。いますこい募集かけて、増えて
るらしい。なんか、有名なおばちゃんが嘔んでんだって、誰だっけ、あの元AV女
優だか風俗だかの、

安西 誰ですか？

枝野 斎藤なんとか。

高村 斎藤ゆかり？

枝野 ああ、そうそう。斎藤ゆかり。だから大丈夫だから。ちゃんとしてるから。

高村 いやいや大丈夫じゃないっすよ、斎藤ゆかり。てか、むしろやばいっすよ。

枝野 は、なんでだよ。

高村 なんかビッチになっちゃうんすよ。斎藤ゆかりの本読むと。

安西 なんすかそれ。

高村 いや、ほんとに。知り合いで斎藤ゆかりの本読んでビッチになっちゃった子とかいて、

まじほんと、そんな感じじゃなかったのに。悪影響すげえ、みたいな。

枝野 あー、それは、確かにちよつと、ダメかも。

高村 でしょ。

安西 え、でもそれは別に、たまたまじゃないんすか？

高村 ちがうんだって。なんか、そう、俺のバイト先、娘がいるんだけど、斎藤ゆかりの。

枝野 は？ まじで？

高村 まじっす。で、やっぱりその娘も、ヤリマンなんすよ。てか、伝説のヤリマンなんす

よ。

伝説のヤリマン？

まつて、俺なんかそれ知ってるかも。

え？

てかこの前会ったかも。

は？

うん。あの、あれでしょ。あの、飲み屋でつぶれてる女を介抱しようとする、エロ

い議論をもちかけられて、論破されて、ホテルに連れ込まれるっていう、

え？

あー、そのパターン初めて聞きましたけど、それ、多分あってます。

ほんと？ え、なんだっけ、伝説のヤリマンの、斎藤、

舞。

それ。

……斎藤、舞。

安西

枝野

高村

枝野

高村

安西

枝野

高村

枝野

高村

枝野

安西

舞が現れる。

舞

あの、BLの妄想の相手に口説かれたことのある人、いますか。

女1、2、3、4、5、6が現れて、高村、枝野、安西は消えている。

舞台はインターネット上の腐女子掲示板になる。

なにそれ。

きかせて。

いつも妄想してるBLの二人組の片方に、告白された。

まじで。

まじ。でも、わたし、ヤリマンのふりしてるけど、処女だし、どうしていいかわからなくて、「童貞捨てたいだけなら風俗行けば」的なことを、なにか、言った、ような。

wwwwwwwwwwww

ひどすぎる。

鬼畜。

それはひどい。

やっぱりそれは、ひどいこと、なんだよね？ ひどいことを言うつもりは全然なかつ

ただけど、本当にどうしていいかわからなくて、え、どうしたらいいもの？

え、なに、恋愛相談。

きくよきくよ。

とりあえずさ、悪いと思ったら謝ることだよ。

テンプレの回答。

舞 4 あ、でもそうだよね。とりあえず、そうしてみる。
4 やめとけ。処女の意見はあてにならない。
3 あたしはヤリマンだよ。
4 ヤリマンはBLみないでしょ。
5 いや、BLはヤリマンも見るでしょ。
6 どっちにしても恋愛相談ならここじゃないほうがいいんじゃない？
1 ここは、腐女子の聖域の腐女子板。リア充は爆発キボンス。
舞 すみません。別に、リア充じゃないですけど、すみません。
3 あたしは聞きたいのに。
1 恋愛相談スレはこつちです。
5 BLのはなししようよ。
2 じゃあ、ふたりでうつれよ。
5 深夜BLアニメ、レモネード、くわしい人いない？
3 別にうつつてもいいけど、そうする？
2 レモネードは、ヒロインの声優のブログがおもしろかったです（小並感）
6 それな。
舞 いいです。大丈夫です。ごめんなさい。
1 なんの話。
2 g r k s。
6 水野百合が安達実果子のプライベートを暴露する事案が発生した。
舞 え？
6 リンク貼りました。

百合があらわれる。

百合

こんどの現場は、同期のみかりんが一緒に超うれしい。

みかりんは、歌もうまくて、演技も上手で可愛くってわたしの憧れの女の子でした。でも、みかりんはお母さんがAV女優をやっていたせいで、オーディションで不当な評価をうけたり、ブログに心無い書き込みをされたりしていました。

6

安達実果子の本名は斎藤実果子。プロフィールに載ってるよ。

2

初めて知った。

3

ていうか、安達実果子って誰。

4

斎藤ゆかりの娘の声優。BLアニメレモネードの山田の友達の妹役。

百合

その書き込みは、お母さんが本を出すたびに、いまだにあるそうです。

2

これのこと？

5

斎藤ゆかり、「元AV女優のフェミニズム」税込千八百円。

百合 本当に、こういうことはゆるせません。お母さんがAV女優だったからって、ブログにあることないこと書かれて、本当にかわいそうでした。こころないみかりんへの誹謗中傷は本当にやめてください。みかりんは、潔白です。みかりんはバージンです。

3 斎藤ゆかりの娘、処女だったんだよね。

5 え、比喩じゃないの。

4 水野百合も処女なんだから。

百合 わたしもバージンだから、よくわかります。

5 え、比喩じゃないの。

2 わたしもバージンだからよくわかる。

7 俺もバージンだからよくわかる。

百合 みかりんは本当に、いい子なんです。明るくて、元気で、オーディションで落ちても

全然暗い顔しないし、でも陰ではたくさん努力してて、ほんとうは、いつも悔しい思いをしているんです。でも今回はみかりんのがんばりが通じて、オーディションにとおったんです。だから、嫌がらせとか、ほんとうにしないでください。みかりんは全然わるくないんです。

わかるいのは、AV女優をやった、みかりんの、お母さんです。

3 たしかに母親はマジでクズ。

石川、ゆかり、園田、月島が現れ、ラブキャンディと魔法使いクラブの空間が交差する。

石川 ゆかりさん、これ、やばくないですか。

園田 月島、これさ、やばくない？

月島・ゆかり え。

月島とゆかり、パソコンをのぞきこむ。

1 たしかにさ、お母さんが元AV女優とかかなりいやだね。

2 安達実果子、かわいそう。

3 いままで斎藤ゆかりのせいで、オーディションに落ちてたらしいよ。
4 やっちまったことは仕方ないとしても、それは隠すべき。
1 いじめにもあつてたんだって。

3 かわいそう。

2 まじかわいそう。

4 安達実果子は実力はある。

1 あたし元々好きだったけどね。

2 処女だったんだね。
3 斎藤ゆかりは母親失格。

ゆかり 別に騒ぐほどのことじゃないでしょ。今更。
石川 でも、

ゆかり こんなのは、昔からあったからね。あとほとんどデマでしょ。
石川 デマ？

ゆかり デマゴギー。悪意ある噂。母親がAV女優やってたからって、オーディションで落としたりはしないよ。

月島 うあー、嫌なタイミングだなー、
園田 そうだよな。

石川 そうですか。

ゆかり そうよ。仮に本当だったとしたら、それは差別がまかり通る社会に対して、怒るべきだし、わたしがAV女優じゃなかったらいいとか、隠せばいいとかそういう、簡単な話じゃないからね。

石川 そうですけど。

ゆかり 論点がずれてるじゃん。

園田 どうする？ 合宿。

ゆかり まあ、言わせとけばいいんだよ。こんなのは。

月島 でもまあ、やるよ、来週だし。人は集まってんだからさ。

園田 (同時) そうだよな。

石川 (同時) そうですよな。

1 母親がAV女優なんて自殺考えるレベル。

2 自殺も考えたんでしょ、安達実果子。

3 かわいそう。

6 安達実果子、ほんとにがんばったんだね。こんど森山るい役でしょ。

4 いまきてるよね。

7 そもそも声優は全員処女であるべき。

2 声優ファンって、処女厨おいし。

8 非処女の声とか、耳に他の男の精子がかかりそう。

5 安達実果子と水野百合、処女厨から、処女の神っていわれてるんですよ。

2 なにそれ。

4 え、ピンクバージンでしょ。ライブいったよ。

2 ライブ？

5 なんのライブ？

6 だから、ピンクバージン。安達実果子と水野百合の声優ユニット。

音楽。

実果子と百合があらわれ、ピンクバージンのライブがはじまる。

オタゲーをするファンたち。

百合・実果子 みんな、本当に、ありがとうー！！

ファンたち バージン最高ー！！

百合・実果子 バージン、最高ー！

ファンたち、去る。シーン変わって、ライブ後の楽屋。

百合と実果子、はあはあしている。

百合 おつかれ。

実果子 おつかれ。

百合 すごかったね。熱気。

実果子 ね。

百合 みかりん。わかんないんだけど、まだわかんないんだけど、もしかしたらツアーもやるかもって。

実果子 え。

百合 ピンクバージンライブ、全国ツアーライブ。

実果子 え、え、ほんとに？

百合 まだ本決定じゃないけど、かもって。さつき社長が。

実果子 すごい。

百合 すごいよね。なんか、しんじららない。

実果子 わたしも。

百合 みかりん、ありがとう。わたし、みかりんとユニット組めて本当によかった。ありがとう。

実果子 そんな、わたしのほうこそだよ。わたしなんて、ほんと、わたしなんかがゆっちゃん

とユニット組めるなんて、それだけですっていうか、ゆっちゃんはほんと、同期

のスターだったから。

百合 わたしなんて、全然だったよ。

百合 そんなことないよ。え、そんなことないでしょ。

実果子 あるある。全然ある。わたしなんて、ちよつと売れはじめたと思ったら、顔見なくな

ったなーっていう、そういう、ブレイクしそびれた、終わった声優だった。わかるよ、

じぶんで、それくらい。みかりんとユニット組めなかったら、あのまま終わってた。

百合 だから、本当にありがとう。

実果子 やめてよそんな、そもそも、ユニット組むことになったのだから、ゆっちゃんのブロ

グのおかげなんだし、ゆっちゃんの、全部ゆっちゃんのおかげだから。

百合　みかりん、わたしたち、多分これから本当に売れるよ。スターになるよ。
うん。

実果子　覚悟ある？

百合　え。

実果子　本当のスターになる覚悟ある？

百合　あるよ。

実果子　じゃあみかりん、今度テレビに出演するから、そこでママの悪口言つて。

百合　え。

実果子　話題になると思う。安達実果子が語る、元AV女優の母をもつ苦悩。

百合　いや、そんな、苦悩つてほどでもないし、別におもしろい話じゃないし。

実果子　そんなことないよ。おもしろいよ。おもしろくしなきゃだよ。

百合　おもしろくしなきゃ？

実果子　スターになるつてことは、物語を背負うつてことだよ。物語を背負つて、みんなの思想まで動かすつてことだよ。

百合　そうだよ。

実果子　そうだよ。みかりんは、母親がAV女優という不幸な家庭から這い上がった、清純な処女の神。その物語を背負つて、空前のバージンドリームを引き起こすんだよ。

百合　バージンドリーム？

実果子　みかりん、本当にわたしとユニットになってくれてありがとう。あと一歩だよ。もう一歩だよ。一緒にがんばろうね。

百合　うん。

声　百合さんおねがいます。

百合　はい。

百合　百合去る。実果子が立ちつくしていると、入れ替わりに舞がやってくる。
そこはゆかりの家。

舞　帰つてたんだ。

実果子　うん。

舞　すごいね。売れてるね。

実果子　おかげさまで。

舞　バージンの神なんだつて。

実果子　うん。

舞　これ前も聞いたんだけどさ、処女つて、恥ずかしくないの？

実果子　お姉ちゃんはさ、よくヤリマンとか言われて平気だね。だってそんなの悪口じゃん。悪口だったら別によくない。そんなの言うほうがくだらないだし。

実果子　いやいやいや、言うほうがくだらないからいいってわけじゃないじゃん。誰から言われても、嫌じゃん、悪口は。

舞 それはさ、誰からも嫌われたくないってこと。
実果子 うん。
舞 へえ。
実果子 そうだよ。わたし道行く人にも好かれない。けどそんなの普通でしょ。
舞 すごいね。
実果子 馬鹿にしてる？
舞 いやいや。すごいなって思ってた。
実果子 なにが。
舞 好かれるのって怖いじゃん。
実果子 は。

そこに、ゆかりが帰宅する。

ゆかり ただいまー。あ、めずらしい、ふたりとも早いじゃん。
舞 お母さんも早いじゃん。
ゆかり なんか仕事でいろいろあつてさあ。
舞 いろいろあつたら遅くなるんじゃないの。
ゆかり いろいろあつて、なんかもう明日にしようって行って、帰ってきちゃった。
舞 えー。
ゆかり ああ、おなかすいた。なんかたべた？
舞 まだ。
ゆかり なんかたのんじやおうか。
舞 いいね。わたしピザがいい。
ゆかり ピザかー。まあわるくないね。実果子は？
実果子 なんでもいい。
ゆかり そう。
舞 このまえチラシきてたよね、クーポンついてたやつ。知らない？
ゆかり 玄関じゃない？
舞 え、そうだっけ。

舞、玄関へ去る。

ゆかり あ、そうだ、実果子、明日テレビ出るんだって。
実果子 え。うん。
ゆかり 言いなさいよ。今日ディレクターに言われて、びっくりしたじゃない。
実果子 うん。
ゆかり なんかあれね。がんばってるのね。
実果子 別に。
ゆかり 別についてこないでしょ。よくやってるんじゃない。
実果子 うん。

ゆかり
でもさ、あの、あれ、処女ユニットっていうの、ああいう売り方はあんまり賛成しないな。処女なのは、別にいいと思うけど、処女を売りにしたり処女を扇動したりするのはあんまり、いいやり方じゃないんじゃないと思うんだけど、どう思う。

実果子
それは、わたしがきめたことじゃないし。
でもあんたの人生でしょ。なんであんたが決めないの。

ゆかり
……。
あんたそういうところさ、ほんと、ちゃんと考えたほうがいいと思うよ。

舞、戻ってくる。

舞
お母さん、チラシないんだけど。
ゆかり
そう？

実果子、部屋を去ろうとする。

舞
ちょ、どこいくの。
実果子
外。

舞
ピザは。
実果子
いない。

ゆかり
実果子。

実果子、出ていく。

舞
ちよつと、
ゆかり
ほっときなさい。

舞
え、なに、
ゆかり
あの子はほんとに、わかってないっていうか、考えてないって言うか。

舞
……。
ゆかり
まあいいけど。チラシは。
みつからなくて。

ゆかり
えー。あ、冷蔵庫に貼ってたかな。

ゆかりは、ピザのチラシを探しに去る。

ゆかりの声
2人だから、ミでいいわね。
舞
うん。

舞、ぼんやり立ちつくし、意を決したようにゆかりのほうに向かって呼びかける。

舞
あの、

と、村野があらわれる。そこは職場のちかくの公園。

舞 村野 あ、すみません。呼び出して。

舞 村野 いえ。

舞 村野 あの、このまえのこと、謝らせてください。

舞 村野 え。

舞 村野 童貞捨てるなら合宿行けばとか。

舞 村野 ああ。

舞 村野 そういう風にいうつもりじゃなかったんですけど、すみません。

舞 村野 いえ。

舞 村野 それだけです。じゃ。

舞 村野 え？ あの、

舞 村野 え。

舞 村野 あ、僕の話も聞いてもらっていいですか。

舞 村野 あ、はい、すみません。もちろんです。どうぞ。

舞 村野 僕としてはあの、まあ、凶星みたいなところもあったっていうか、

舞 村野 はい。

舞 村野 童貞なんです。やっぱり、斎藤さんに対して、そういう、やましい気持ちがある、なかった

舞 村野 わけじゃないっていうか、ていうか、ありました。あります。はい。性欲です。

舞 村野 そうですか。

舞 村野 でも、わかんないですよ。やっぱり、童貞なんです。あの、このやましい気持ちの

舞 村野 正体っていうのは、性欲だけなのか、恋愛も含むのか。

舞 村野 ああ。

舞 村野 やつたらわかるかなって思って、合宿もいこうと思ったんですけど、なんかあんまり

舞 村野 そういう気持ちになれなくて。なんかやっぱり、好きな人と思って思っちゃうんですけど、

舞 村野 でも好きとかもわかんないから、もう、ちょっと自分でも意味わかんないかんじ

舞 村野 なんですけど。ほんとなんか、迷惑かけちゃって、すみませんでした。

舞 村野 いやあの、全然、迷惑とかじゃなかったです。うれしかったです。

舞 村野 あの、斎藤さんは恋愛とかするんですか。

舞 村野 あー。あんまり、しないです、けど、

舞 村野 恋愛と性欲の違いってなんですかね。

舞 村野 なんですしうね。セックス以外も、興味あるかどうか、ですかね。

舞 村野 あー、だったら僕、やっぱり好きなんじゃないかと、思うんですけど。

舞 村野 そうですか。

舞 村野 あの、斎藤さんは僕のこと、どうっていうか、セックス以外も興味ありますか？

舞 村野 え。

舞 村野 すみません！ なんか、僕に対してセックスをしたい人、みたいな言い方になってし

舞 村野 まって、すみません！ ないですよ。わかってます、僕に対して性欲とか、なんか、

舞 村野 ほんと、気持ち悪いこと言ってますみません。

舞 いえ、あの、そんなことないです、あの、むしろ、想像ていうか、エロい妄想とか、よく、しています。

村野 え？

舞 あれ？ あ、あの、いや、ああああ。

村野 あ、いやあの、大丈夫です。うれしいです。あの。僕も、その、よくします。斎藤さんを、妄想とか、想像とかして、よく、します。

舞 そうですか。

村野 はい。今日もします。

舞 そうですか。……じゃあ、わたしもします。

村野 そうですか。

間

村野 あの、今度休みの日に、ご飯とか、いきませんか。

舞 はい。……あの、

村野 はい。

舞 時間、大丈夫ですか。お昼休憩……、

村野 あ。もどりましょう。

舞 はい。

舞、村野、去る。

音楽。

リポーター1、2、ファンたちがあらわれる。

リポーター1 ホットな話題を提供する、追突ドキュン。

リポーター2 今回は、いま、若者の間で話題のポルノ撤廃のためのデモパーティーに追突！

リポーター1 イベントゲストは人気声優ユニット「ピンクバージン」のお二人です。

実果子、百合、登場。

百合 バージン、最高ー！

ファン バージン、最高ー！

実果子 わたしは、お母さんを軽蔑していません。

ファン歓声。

実果子 小学校の時、お母さんの出たビデオをみて、すごくショックをうけました。高校生

になってわたしは声優という夢ができて、声優の事務所に入りました。でも、

でもみかりんは、お母さんがAV女優だったからという理由で、なかなかオーディション

に通ることはできなかつたんだよね。

実果子 はい。母親がAV女優であるということはそういうことなのだと思います。

わたしたちはバージンであることを恥ずかしいとは思いません。

百合（同時に） わたしたちはバージンであることを恥ずかしいとは思いません。

恥ずかしいのは、女の子が自分の体を安売りすること、そして、自分の体を大切にしないこと。

実果子 わたしはお母さんを、そして、ポルノを見る人を、軽蔑します！

リポーター2 いかがでしたか。

篠崎 わたし、なんか、超感動して。女の子は、やっぱり付き合ってる人とかエッチとかするべきじゃないって思いました。

枝野 女性が貞淑であるっていうのは尊いことだなんて思います。彼女にするんだったら、安達実果子ちゃんとか、水野百合ちゃんみたいな子がいいですよ。

百合・実果子 みんな、本当にありがとうございます！

暗転。

スタジオ音声 以上、キャンディハウスよりポルノ撤廃のためのデモパーティーの模様をお伝えいたしました。……ただいま入ってきたニュースです。会員制のネットサロンと称して、高校生の少女に、売春の斡旋をした疑いで……（フェードアウト）

明りがつくところこそはラブホテル。

バスローブ姿の高村と篠崎。

高村 それはさ、付き合いたってこと？ ちゃんと。

篠崎 そう。

高村 いいけど。

篠崎 ほんと？

高村 うん。じゃあさ、撮らせてくれない？

篠崎 え。なに、

高村 だから、（高村、携帯を持つ）

篠崎 えっちをってこと？

高村 えっちを。

篠崎 えええ、嫌だよ、なに言ってるの。

高村 いやいや、ちがうから、だつてさ、はじめてじゃん、おれたち、ちゃんと付き合うの。

篠崎 うん。

高村 だから記念っていうか、

篠崎 は？

高村 忘れちゃうじゃん。覚えてられればいいけど、忘れちゃうじゃん。でも、覚えておき

たいから、ちゃんと。付き合っではじめてのえつちとか。そういう感動を覚えておかないと、つくれないから、映画とか。だめ？

篠崎

えー。

高村

おねがい。

篠崎

絶対誰にもみせない？

高村

絶対誰にもみせない。

篠崎

じゃあいいよ。

高村

まじで？

高村、携帯で篠崎を撮ろうとする。と新着メールに気がつき、携帯を見る。固まる。

篠崎

どうしたの。

高村

なんか、先輩が、つかまったって。

篠崎

え。

音楽。

走りこんでくる枝野。その枝野を、「逮捕！ 逮捕！」と叫びながらおびたらしい数の人たちが全力で追いかける。「まってまって」と、抵抗もむなしくつかまる枝野。「確保しました！ 確保！ 確保！」などといいながら、おびたらしい数の人たちは枝野を担ぎあげて去っていく。

高村は携帯をみている。

篠崎

どうしたの。

高村

なんか知り合いの先輩が、童貞捨てる合宿みたいなのいって、

篠崎

なにそれ、やばいね。

高村

やばいでしょ。そこに高校生が混ざってて、その子とやっちゃったんだって。

篠崎

えー。

で、先輩も舞い上がっちゃって、童貞だったから、なんかもうストーカーみたいになっちゃってて、だからやばいと思ってたんだけど、で、ついに相手の子が被害届だしたみたい。

篠崎

わー。

高村

あれ？ てか、斎藤ゆかりもつかまったって。

篠崎

え、なんで。

高村

（読む）月島透、園田正人、斎藤ゆかり、売春斡旋の疑いで、逮捕。

おびたらしい数の人が、「逮捕逮捕」といいながら月島、園田、を逮捕する。それを撮る篠崎、高村。

キヤスター 本日午後、高校2年生の女生徒、16歳とみだらな行為をしたとして、青少年健全

育成条例違反の疑いで28歳アルバイト勤務の枝野博文容疑者を逮捕しました。枝野容疑者はインターネットを通じて出会った女生徒とみだらな行為に及んだ後、縁を切りたいといった女生徒に無料通信アプリを通して、「映像を撮った。関係を続けないとインターネットにながす。」と脅迫。不安になった女生徒が家族に話したことから、事件が発覚しました。また売春斡旋の疑いで月島透容疑者、園田正人容疑者、斎藤ゆかり容疑者ら3人が逮捕されました。いずれも容疑は否認しているということです。

1、2、3、4、5、6が登場し、インターネットの掲示板になっていく。
その中に、ゆつくりとゆかりが浮かび上がる。

1 斎藤ゆかり捕まったな。
2 すぐ出てくるでしょ。

3 高校生売春させてたんでしょ。ないよね。

4 売春斡旋じゃアウトだな。

5 参加者がストーカーになったらしい。

ゆかり
昨日も三回同じことを言ったんですけど、わたしは、本当にお店のホームページにリンクを貼っただけなんです。それが売春斡旋になるんですか。

1 ホームページで売春斡旋してたんだろ。

2 基本、斎藤ゆかりの活動は全部売春斡旋のため。

3 あの、エロ本屋も？

4 エロ本屋？

ゆかり
ポルノのお店じゃありません。女性向けポルノのお店です。

3 女用のエロ本とかエロDVDの店。

2 それも売春のためだろ。

4 なんでそれが売春のためなの。

2 エロい女を集めて客に売春させてたってこと。

5 なにそれ、怖い。

2 それが一番の目的。

ゆかり
ポルノをベースとした男性による支配的な社会を増長させないための、女性向けポルノ販売なんです。

5 斎藤ゆかりにだまされた。

3 斎藤ゆかりの本とか持つてるやつ、いま猛烈に恥ずかしいだろうな。

6 実はうちの妹の本棚にある。

6 前はキャバだったのに、斎藤ゆかりにはまってから、風俗やりはじめた。
2 思うつぼ。

1 斎藤ゆかりに騙されてビッチになった女の一覧表はこちらです。
2 斎藤ゆかりに騙されて風俗嬢になった女の一覧表はこちらです。
3 斎藤ゆかりに騙されてAV女優になった女の一覧表はこちらです。
4 斎藤ゆかりの家族一覧。

タイピングの音が止む。

4 長女は斎藤舞。次女は安達実果子。
5 安達実果子、会見で超平謝りしてる。

実果子 このたびは、お母さんが世間にご迷惑をおかけして、大変申し訳ありませんでした。わたしはこれから、娘として、母が迷惑をかけた分だけ償っていきたい。ピンクバージンとして、女の子に自分の体を安売りしたらいけないってことを伝えていきたいと思えます。わたしはお母さんを軽蔑していません。

アナウンサー 以上、記者会見でした。
コメンテーター 女性が貞淑であるべきだということは、男性の理想の押し付けではなく、女性自身のためであるということを考えさせられましたね。

3 やっぱり安達実果子はちゃんとしてるね。
4 実果子はちゃんとしてるけど、姉ちゃんはヤリマンなんだって。
5 マジで。
4 伝説のヤリマンなんだって。
5 伝説のヤリマン？
6 斎藤ゆかり、証拠不十分で釈放されたってよ。
3 あ、伝説のヤリマン。

掲示板の人たち、舞を携帯で撮影する。舞、それから逃げる。
それは、報道陣に追いかけられる姿に見える。
舞をおいかけて、掲示板の人たち、いなくなり、
それをみていた、石川と桜田が舞台に残る。

桜田 僕たちはポルノというものが、いかに不幸でゆがんだ家庭を生み出してしまうのかということを、知っています。誰かがポルノをみたいとつぶやくたびに、彼女たちのような不幸な親子が生まれるのです。だからもう、男とか女とか関係なく、ポルノはなくなるべきだと思うし、僕は、めぐみさんと、幸せな家庭を築きたいと思っています。

だから、僕はめぐみさんにそういう仕事に手を染めていてほしくはないです。僕の気持ち、わかって頂けないでしょうか。

石川 おっしゃっていることはわかります。桜田さんのお気持ちも、ありがたく、うれしく思っています。でも、わたしは今の仕事を誇りをもってやっています。すぐにはわかってもらえないかもしれないけど、いずれ、わかりあえたらと思っています。最近、何人かお店をやめてしまっただけでちよつとばたばたしているのですが、もう少し落ち着いたら、またゆつくり、お話ししましょう。

桜田 めぐみさん。めぐみさんはわかりますとおっしゃいましたが、僕にはめぐみさんが僕に言っていることをわかってくださっているように思えません。わからないと言っただければわかりあうために話すことができるかもしれない。しかし、わかると言ってしまうということは、もうこれ以上こちらのことをわかってほしいという態度なのではないでしょうか。わかるわかれるといながら、もうこちらの言うことをお聞きにならないという態度をとるのであれば、僕は、もう恵さんとはやっつけていけません。

石川 ご指摘されて気が付きました。たしかにわたしは物事をまるくおさめようとして、「わかる」と言ってしまうところがあります。自分では気が付きませんでした。人とぶつかるのが怖くて、横道に逃げてしまっていたのだと思います。でも、そうしては本当に誰かとわかりあうことなんてできませんよね。軽率な態度をとってしまった申し訳ありませんでした。

桜田 わかっていただけでよかったです。

石川 はい。ですので言わせていただきます。わたし、桜田さんのおっしゃっていることが、全くわかりません。

わたしは、いまの状況をポルノと関連付けて考えるのは危険だと思っています。すべての原因をポルノにしてしまうことは、問題を単純化し、解決を難しくすることになりかねないのではないのでしょうか。特に今回の件は、ポルノⅡ悪。ポルノⅡ害。ポルノⅡ不幸というその決めつけこそが、問題を大きくし、事態を悪化させたのではないかと考えています。

……。

桜田さんはどうおもいますか。

……。

桜田さん？

桜田 すみません。ここまで、意見が違うとは思いませんでした。ちよつと、考えさせてください。

はい。

石川 しばらく、連絡を控えさせてもらっていいですか。

桜田

石川 どうしてですか。

桜田 ……。

石川 桜田さん、考えるってなにをですか。この問題をですか。それとも、ふたりのことですか。

桜田 両方です。

石川 桜田さん。

桜田 すみません、考えさせてください。

石川 桜田さん。わたし、

桜田 すみません。

桜田 去る。石川、パソコンをみている。

そこにゆかりがやってくる。

そこは、ラブキャンデイの仕事場。

石川 おかえりなさい。

ゆかり いただきます。

石川 おつかれさまでした。

ゆかり 迷惑掛けたね。

石川 いえ。大丈夫でした？

ゆかり いやー、警察ひどいね。すごいんだよ。全然話通じなくてき、同じ話をね、もう、何回も何回も聞かれて、何回もするんだけどね、全然伝わってないんだよ。

石川 おつかれさまでした。

ゆかり 石川ちゃんこそ、おつかれ。ほんと、ありがとうね、いろいろ。

石川 とんでもないです。

ゆかり さて、お店のことだけど、とにかくしばらく休み。

石川 はい。

ゆかり メンバーもまた、募集しないといけないし。

石川 そうですね。わたしもうちよつと、うまく立ち回ればよかったですけど、いいのよ、もう。やめちゃった人のことはいいの。わかんなかった人のことはいいの。

ゆかり 石川ちゃんは残ってくれたんだし。わかってくれる人だけ、わかってくれればそれでいいの。まあね、これからちよつと、また大変だけど、

石川 いや、よくはないですよ。

ゆかり いいのよ。

石川 よくないですよ。

ゆかり ……。

石川 すみません。でも、ゆかりさん、みんなやめるときだって、わかんないならいい、怖くなったならいいって、でも、ちゃんと説得したら、わかってくれたかもしれないのに。

ゆかり 好きじゃないのよ、そういうの。

石川 わかんない奴にわからせるの、ロスだからですか。

ゆかり ……
石川 わたしがやめるっていったら、どうします。
ゆかり 石川ちゃんは、やめないと思ってたけど。
石川 わたしも、やめないと思ってましたけど。
ゆかり ……
石川 わたし、正しいって思います。ゆかりさんのこと。尊敬してます。でも、わかってくれない人を、全然わからうとしないてただただ排除しちゃうやり方は、
ゆかり そういうことじゃないのよ。
石川 でも、
ゆかり そういうことじゃないの。わかんない奴のことはきにするなっていうのは。わかんない奴に煩わされるなっていうのは、そういう…：…わかんない？
石川 ……
ゆかり わかんないか。
石川 わかんないです。
ゆかり じゃあいい。
石川 お世話になりました。
ゆかり うん。

石川、去る。ひとりになるゆかり。
パソコンをつける。

1、2、3、4、5、6、があらわれ、インターネットの掲示板になる。

1 斎藤ゆかり釈放されたんだって。
2 日本の警察は無能。
3 日本の警察は有能。無能なのは日本の法律。
4 斎藤ゆかりの長女って、伝説のヤリマンなんですよ。
5 なにそれ。
6 しってる。斎藤舞でしょ。わたし、同級生だった。
3 伝説のヤリマン。

w w w w w w w w w w w w w w w w

1 俺、伝説のヤリマンとやったよ。
2 誰とでも寝る女とか親子でクズだな。
3 俺もやった。
4 証拠見せろよ。

安西があらわれる。

安西 俺もやったよ。リンク、貼りました。

実果子があらわれ、安西と実果子のセックスがはじまる。
舞とゆかりがそれをみている。

ゆかり・舞 これ、

1 ほとんど顔見えないじゃん。

2 暗いなー。

4 え、本物？

3 なわけねーじゃん。

安西 逆ナンされて、ラブホテルで撮影。相手が伝説のヤリマンだって気が付いたのは、まとめサイトの伝説のヤリマン伝説を読んだから。

2 逆ナンで即マンとかガチビッチだな。

安西 でも起きたらいませんでした。やれば誰でもいってかんじだったんでしょか。まあ、ヤリマンですからね。僕も別にそれで全然いいんですけど。

2 親が親なら子も子だな。

3 安達実果子はちがうよ。

4 姉ちゃんも母ちゃんもビッチって、みかりんマジかわいそうだよね。

5 まあ反動もあるんじゃないか。

2 これ本当に伝説のヤリマン？

6 みかりんの姉上と思って鑑賞すると興奮する。

4 たしかに。はあはあ。

2 やめろ、みかりんを汚すな。

3 みかりんはバージンの神。ヤリマン家族と一緒にするな。

ゆかり ていうかこれ、舞じゃなくて、実果子じゃない？

1 2 3 4 5 6 え。

転換。

シーン変わって、そこは公園。村野と舞。

舞 あの、みました？ 動画。

村野 みました。

舞 そうですか。

村野 あれ、本当に舞さんなんですか。

舞 ……ひきますよね。

村野　そうですね。結構、びっくりしますね。
舞　そうですよね。すみません。

村野　大丈夫だと思ってたんですけどね。

舞　嫌でしょ、こういう女。こういう、他の男とのセックスがネットに落ちてる女。

……。

舞　正直に言ってください。

村野　すみません、僕、

舞　はい。

村野　思ったより、全然覚悟たりてなかったです。

舞　ふつうですよ。

村野　大丈夫だと思ってた。でも動画みたら、すみません。

舞　村野さん、わたし、母のこと尊敬してるんです。

村野　はい。

母は、いろんな人が自分の思うように自分で決めた人生を自由に生きられる世の中を
目指して、だから、好きに生きてる人を邪魔するような偏見とか、レッテルとか、
そういう差別的な価値観と、すごく戦ってるんです。わたしはそういう母のことを尊
敬してるんです。

舞　はい。

村野　だから、わたしは、そういう価値観の人とは、村野さんとは、付き合えない、です。

舞　はい。すみません。

(謝罪にゆらいで)でも村野さんの気持ちはわかります。わたしも、わたしだって本
当は、小さいころ、母のビデオをみて気持ち悪いつて思いました。気持ち悪いつて、
汚いつて、思いつて、でもその気持ちを、まだ、いまでもぬぐえなくて、だから、わか
ります。よくわかります。

いまにも泣き崩れそうな様子の舞。

村野　舞さん。あの、僕、好きです。

舞　ありがとうございます。好きになってくれて、ありがとうございます。でももう忘
れてください。

……。

舞　さよなら。

村野　(こらえて)また明日会うじゃないですか。

舞　あ、そうですね。

村野　そもそも、付き合ってたわけじゃないですし。

舞　そうですね。なんか、すみません。

村野　そうですね。

舞　……。

村野　じゃあ、またあした。

舞　はい。

村野、去る。

みかこ、1、2、3、4、5、6、が登場し、掲示板になる。

安達実果子？

え、そう？

いや、全然わかんない。

え、伝説のヤリマンって安達実果子なの。

え、でも言われてみればちよつとほんとにみかりんっぽくない。

これ本物だったら安達実果子最低じゃね。

クズすぎワロタ。

みかこ、掲示板で書かれていることに追いつめられる。

逃げようとするが、逃げられない。

舞、それを見ている。

3 さすがにこれはガセ。バージンが売りのユニットがビッチとか、リスク高すぎ。

4 もしそうだったらやばいよね。

7 ピンクバージンがビッチだったら死刑でしょ。

3 さすがにないだろ。

2 わかんないって。

5 でも確かにみかりんっぽい。

4 もうだんだんみかりんにしか見えなくなってきた件。

5 まじで誰かちゃんと解析とかしてくんね？

3 伝説のヤリマンが安達実果子だったらマジ死刑。

みかこ、座り込む。

舞
ちがいます、これ、これは、あたしです。伝説のヤリマンは安達実果子じゃありません。伝説のヤリマンは斎藤舞です。

1、2、3、4、5、6、舞のほうを振り向き、写メをとりはじめる。

おびただしいシャッター音と、フラッシュ。

1、2、3、4、5、6、去る。

気がつけば、そこはゆかりの家。

実果子
なんだろうそつくの。

舞
え。

実果子
お姉ちゃんじゃないでしょ。これ。

舞 実果子 これ実果子？

舞 実果子 そうだよ。撮られてたんだね。全然気付かなかった。

舞 実果子 実果子ってヤリマンなの？

舞 実果子 酔っ払うとき、やりたくなるんだよね。それってヤリマン？
舞 どうかな。

舞 実果子 誰でもいいわけじゃないけど、ちよつと好みだったり意気投合したりするとき、やりたくなつちゃうんだよね。なんか、もつと一緒にいようよ、みたいな。もつとなかよくしよーよ、みたいな。もつと内側に入ってこいよー、みたいな。もつと、好きになつてよー、みたいなの。
舞 うん。

舞 実果子 本当はさ、みんな、結構そんなもんじゃないのかなって、思うんだけどね。彼氏じゃない人と寝たら価値が下がる気がするからやらさないだけで。でも下がらないじゃん。別にそれくらいで、自分の価値は。下がるべきじゃないじゃん。そういう社会であるべきじゃん。ってことを、日夜お母さんがテレビで喋って、お姉ちゃんが家で喋ってるからさ、下がらないと思つちやってるんだよね。わたしの中では完全に。男と寝たくらいで自分の価値は下がらないって。

舞 実果子 うん。

舞 実果子 だからね、ここぞという時に、ブレーキが、効かない。全然。

舞 実果子 なるほどね。

舞 実果子 そうじゃない？ だって寝たいんだからさ、そして、寝ない理由はないからさ、ブレーキ壊れてるんだからさ、そりゃ寝るよ。でもさ、下がるじゃん。実際は価値は。男の子と女の子は違うじゃん。

舞 実果子 だから、処女のふり？

舞 実果子 だってわたしは、価値が低いって思われたくないもん。

舞 実果子 よく言えるね。ヤリマンなんて。

舞 実果子 それは別に、言いたい奴には言わせとけばいいじゃん。

舞 実果子 よくそう思えるね。

舞 実果子 ほんとに実果子は好かれたいんだね。

舞 実果子 そうだよ、わたし、道行く人にも好かれない。お母さんみたくにも、お姉ちゃんみたくにも、なれないもん。

舞 実果子 じゃあ動画、なおさらわたしってことにしたほうがいいじゃん。

舞 実果子 なんて、え、だから、なんでかばうの。

舞 実果子 わたしは、別に好かれたくないから。

舞 実果子 ずるいよね。なんでそんなに、お姉ちゃんもお母さんもそんなに、ごめん。もう、わかってるんだけど、お母さんのいってることも、お姉ちゃんのやってることも、おかしくないし、わかるし、わたしがわかんないのはむしろ周りのほうだし、だったらそれと戦うべきだっていうのはさ、でもさ、無理なんだよね、それは、わたしには。ごめん。

舞 実果子 は、すごいね。

舞 実果子 は、どこが。

そこにゆかり。

ゆかり

ただいま。

舞

おかえり。

ゆかり

久しぶり。どうしたの。

実果子

いまは家にいろつて。事務所が。

ゆかり

なんで。

舞

わたしがちよつとやらかしちやつて。

ゆかり

ああ、動画の。

舞

そうそう。

ゆかり

ふうん……でもあれさ、あの動画。あれ、舞じゃなくて実果子じゃない？

舞

ちがうよ。わたしだよ。

ゆかり

ふうん。そうなの？

実果子

うん。

ゆかり

実果子はさ、それでいいの。

実果子

……。

いいよ、わたしは。思想はそれぞれだと思ってるから、わたしのことテレビでなんて
いっても、週刊誌でなんていっても、わたしが逮捕されてる間、ライブハウスでなん
て言っただけでまわっててもいいよ。でもさ、あんたは自分の人生を自分の思うように生き
られないの。それでいいの。

実果子

……。

ゆかり

情けない。

実果子

……。

ゆかり

もう寝るわ。

舞

……そんな言い方ないんじゃない。

ゆかり

え。

舞

だって、お母さんだって……。

ゆかり

なに。

舞

……。

ゆかり

わたしは誰になんと言われても、自分の思うように生きてきたよ。

舞

うん、そうだね。そう思うよ。でも、でもさ、お母さんが、誰になんて言われてもい

ゆかり

いのは、相手を見下してるからじゃないの。

舞

わたしは、いろんな生き方があっていいって思ってる。だから、違う価値観の人のこ

舞

とも尊重する。

ゆかり

うそだよ。

舞

どうしたの。

ゆかり

だって、お母さん、実果子のこと尊重してなかったじゃん。どうせあの子はわかんな

ゆかり

いっていつてたじゃん。

舞

それは……。

舞 尊重してるとかいうけどさ、お母さんは結局、自分のことわかんない人のことを、わかる気は全然、ないんだよ。
ゆかり あるよ。

舞 ないよ。ないから、全然ないから、わたしはお母さんのことわかるふりしてたんじゃないよ。お母さんのことわかるふりして、お母さんみたいなふりしてたんじゃないよ。
ゆかり なによわたしと同じふりって。

舞 セックスが好きでなにいけけないの、みたいな、女に性欲があってどうしていけないのみたいな、言いたい奴にはいわせとけみたいな、むしろわたし、そういう世間と戦いますみたいな、そういう、ふりだよ。でもわたしはほんととは、全然、ちがくて、ちがうし、男の人とかずつと興味なかったし、恋愛とか怖いし、オタクだし、お母さんのビデオとかホントもう、ひくし、……ていうかわたしぶっちゃけ処女なんだよね！

ゆかり・実果子 え？

舞 ……はい！

実果子 え？ まってまってまってじゃあ伝説のヤリマンは？

舞 うそです！ ごめんね！

実果子 な……、え、ちよ、……じゃあ、ほんとに、まじで処女。

舞 だからそう言ってんじゃない。

実果子 処女なの。

舞 処女だよ！

ゆかり ……あんた、え、どうして。どうしてそんな嘘ついてたの。そんな必要あった？

舞 あったよ。だって尊敬してたから。お母さんを。正しいと思ってたから。ずっと。全部。わかんない人のことはいいつて言っちゃうお母さんも、実果子のことまで切り捨てちゃうお母さんのことも全部正しいって思ってたから。

舞 だからわたしは、正しくない自分自身を切り捨ててきたの。

舞 処女だとか、臆病だとか、人を差別するような人間だってことを、切り捨てて、隠して、誰からも見られないようにしてきたの。

舞 でもさ、でもそれは多分、間違ってたんだよね。だって、わたしそうやって生きてきたせいで、ずっと、いまでも、誰ともちゃんと関われない。

長い間。

ゆかり わたしは、実果子を切り捨ててるつもりなんてなかったよ。舞を、追いつめてるつもりもなかった。

舞 うん。

ゆかり 自分と違う価値観の人間も尊重したいって思ってた。いろんな人が、なににもとらわれないで、自己決定できる、自由に生きられる社会をめざしてた。ずっと。

舞 知ってるよ。

ゆかり でも多分、実際は、できてなかったんだね。全然。

舞 ……全然かどうかは、わかんない。でも、

ゆかり いや、うん。好きにしたらいいって、受け入れてるつもりで、そうね。実果子、わた

し、あんたのこと否定して、全然わかるうとしてなかった。認める。そして、それが、そういうわたしの生き方が、ずっと、舞のことも追いつめてた。認める。わたしの責任よ。ごめんね。ふたりとも、ごめん。

舞
お母さん。

実果子

……やめてよ。ていうか、えー、意味わかんないから。わたしお母さんに謝られる筋合いとか全然ないし、謝るとかほんともうマジやめてごめん、てかごめんね謝るから、わかった、あたしが謝るから、たのむから謝らないで。ごめん。ごめんなさい。このとおりだから、謝らないでください。ごめんなさい。ほんとに、どうも、すみませんでした。

舞
なんで実果子が謝るの。

実果子

なんでって、え、なんでってわたし、すごいから。すごいでしょ。片方でバージンプーム起してお母さんのことバッシングしまくって、片方でやりまくって伝説のヤリマンとか言われて、それがばれたらお姉ちゃんに濡れ衣きせてさ。すごくない？もうクズでしょ。終わってるでしょ。終わってるんです、わたし、終わってるんです。ごめんなさい。

ゆかり
実果子。

実果子

ていうかね、なにが終わってるかっていうと、こうやって謝ってるけど、わたし全然変わる気ないってとこだよ。悪いと思っけないわけじゃないんだよ。そりゃ悪いって、むしろ極悪って思ってるけど、思ってるけど、思っても、もう全然、一ミリも変わる気ないんだよ。

だって決まっちゃったし、全国ツアーライブ。だからわたしまた言うし。お姉ちゃんとお母さんの悪口、言うから。

ごめんね。

いや、ごめんねとか言っごめんね。また言うのに。でもごめんなんだけど、もうしようがないんだよ。それが、わたしだから。そういう人間性だから。

だから、別に許してくれなくてもいいけど、わたしは言うから。

これからはじまる全国ツアーライブのオープニングで、「バージン最高ー！」って言うのを合図に、「わたしは、お母さんとお姉ちゃんを軽蔑します！」って言うから。

実果子は決意を表明するが、すればするほど、水におぼれるように苦しそうになっていく。

実果子

ライブに集まった満員の観客の前で、無実の罪で捕まっているいろいろひどいこと言われているお母さんと、わたしの濡れ衣をかぶってネットで批判されまくってるお姉ちゃんのことを、「軽蔑します」ってわたし言うから。

そしてだんだんと、まわりは実果子が語るとおりの全国ツアーライブの風景になっていく。

実果子

そしてさらに、最高潮にもりあがった、お姉ちゃんと、お母さんへのブーイングを聞

いて、超笑顔で「ありがとう」って、わたし言うから。

隣に百合があらわれ、会場は満員の観客でうめつくされる。

実果子

お姉ちゃんはわたしを庇ってくれて、お母さんはわたしに謝ってくれたけど、でもわたしは、そう言う。そう言うから。言うって、決めてるから。わたしは、

ついには最高にもりあがった全国ツアーライブのオープニングイベントの、正にいまそのときとなる。

「バージン最高ー！」という声がする。

実果子

わたしは、お母さんと、お姉ちゃんを……、

しかし、実果子はどうしても言えない。

ざわざわするファン。「みかりんがんばってー」という声援。

実果子

わたしは、わたしは、お母さんと、お姉ちゃんを、……尊敬しています！

会場、騒然とする。状況を理解できない、観客と百合。

実果子

あの動画はわたしです。わたしは、バージンではありません。

わたしは、ヤリマンです。

お姉ちゃんは、わたしをかばって、名乗り出てくださいました。でもあれは、斎藤舞ではありません。安達実果子です。飲み屋であった男の子と、その日にホテルにいったときの動画です。

ゆっちゃんごめん。

でもわたしはヤリマンであることを恥ずかしいとは思っていません。

恥ずかしいのは、みんなに好かれたくて、思ってもないことを言い続けたこと。

そして、ファンのみんなを騙して、大切な人たちを裏切って、自分の気持ちをないがしろにしていたことです。

わたしはお姉ちゃんが大好きです。

わたしはお母さんを尊敬しています。

わたしはデビュー前からいまでもずっと、ずっと変わらずヤリマンです。

大歓声が大ブーイングになっていく。

百合、実果子になにかを言う。が、それは、ブーイングにかき消されて聞こえない。

おそらく謝罪をしているであろう実果子に、言葉を発している百合の様子はだんだん激しくなり、一瞬実果子に掴みかかる。が、手を離し、吐き捨てるようになにか言い、その場を去る。

実果子、百合を追いかけようとすると、タイピングの音が聞こえてくる。
立ち止まり、その音に耳をすます実果子。
ブーイングはタイピングの音にかわっていく。
実果子のブログに批判を書き込んでいる人たち、1、2、3、4、5、6が浮か
びあがる。

1 死ねばいいのに。本当に最低。
2 全部嘘だったんですね。消えてください。
3 クソビッチ。嘘つき。まじ最悪。生きてる価値ないから、まじで。
4 アイドル史に残る伝説のステージでしたね。もちろん黒歴史ですが。
5 ゆるさない。
6 みかりんってほんとあれだよ。なにがあれって、とくに頭があれだよ。
7 しねしねしねしねしねしねしねしねしねしねしねしねしねしね。
8 水野百合ちゃんが本当にかわいそう。あなたが最低でビッチなのはかまいませんが、
ゆりりんを汚す権利はあなたにはないはず。せめて死んでお詫びをしてください。

そのうちのひとりに安西がいる。

安西
あんな動画をネットに流されて普通に生きていられるなんて、やっぱりヤリマンの人はちがいますね。動画は拡散されまくっているのもう回収は不可能だし、あの動画はネット上にとどまり続けて何度も何度も再生されるでしょう。自業自得ですね。とはいえ、そんなことは、ヤリマンのあなたには大したことではないのでしょうか。まあ僕はあなたのファンではないので、どうでもいいんですけどね。これからも枕営業がんばってください。

携帯をいじっている安西のところに、枝野と高村がやってくる。

高村
ごめんな、遅れて。

そこは居酒屋になる。

安西
先輩。
枝野
おー、久しぶり。心配した？
安西
しましたよ。大丈夫だったんですか。
枝野
いやなんかね、うん大変だった。
安西
でしょうね。
枝野
いや、でもね、悔いはない！
高村
いや、なくちゃだめですよ。悔いあらためてくださいよ。
安西
そうですね。なんのために刑務所入ってたんですか。
枝野
まあそうだけど、え、でもおまえだって盗撮しただろ。

安西 それは、はい、そうですね、
高村 まってまって、安西のはただの記録だけど、先輩は恐喝したんでしょ。それ、全然違
うから。

枝野 いやいやいや、わかんないよ。こいつだって、悪用してるかもしれないからね。
安西 してないですよ。

枝野 わかんないよー。ネットに流したりとかしてるかもしれないじゃん。
安西 してないですよ。

高村 ちょっと先輩ほんとまじ、ちょっとは反省したほうがいいですよ。
枝野 反省はしてるよ。反省はしてるけど後悔はしてない！

高村 なんかうぜえな。

枝野 そういうこと言うなよ。ちゃんと罪をつぐなって、ちゃんと出てきたんだからさ。今
日は、おれの出所祝いと、童貞卒業祝いってことで。

安西 はい、まあそうですね。

高村 あ、じゃあ俺もお祝いしてもらっていいですか。

枝野 は、なんだよ。

高村 こんど結婚するんで。

安西・枝野 え。

高村 はい。

枝野 あの、バイト先の子と。

高村 そつす。だからまあ、就活とか頑張んなきゃなんで、バイトはやめちゃったんですけ
どね。

安西 おめでたございます。

高村 おう。ありがとう。

枝野 聞いていい？ なんです？ 子供？

高村 ちがいますよ。あいつ避妊まじ厳しいんすから。ピルのんでるのにゴムつけるみたい
な。

安西 へえ。

高村 まじ徹底してて、

枝野 え、じゃああれ？ おまえもあれ？ そういう、時代の流れにのっちゃってるかん
じ？

高村 あー、まあ別にそれだけじゃないですけど、それもありますかね。なんかアイツも俺
がはじめてだったみたいに言いだして、

安西 それ怪しくないですか。ブームにのってるだけみたいなのもあるじゃないですか。
枝野 確かに。

高村 いや、でもまあ別に俺は、ホントかどうかはどっちでもいいっていうか、なんか女が
そう言うなら俺も、やっぱ責任とんないっていうか。まあ普通に。うん。男として
っていうか。

枝野 おまえ、なんか、かっけえな。

高村 でしょ。

安西 でも、

高村 ん？
安西 いや、おめでとうございます。
高村 おう。ありがとう。

店員がやってくる。

店員 生ビールおまたせしました。

店員が生ビール3つを置いていく。

安西 えっと、じゃあ、先輩の出所と、童貞卒業と、高村さんの結婚を祝して、乾杯。
3人 かんぱーい。

3人、ビールを飲む。

枝野 (安西に) てかき、お前はなんかかないの。
安西 なんかって、なんですか。
枝野 あの逆ナンの子とかき、連絡とかとってないの、
とってないですよ。
枝野 そっかー。
高村 まあそうだよなー。
安西 はい。

タイピングの音。

壁に、実果子のブログへのコメントが映し出される。

1 死ねばいいのに。本当に最低。
2 全部嘘だったんですね。消えてください。
3 クソビッチ。嘘つき。まじ最悪。生きてる価値ないから、まじで。
4 アイドル史に残る伝説のステージでしたね。もちろん黒歴史ですが。
5 ゆるさない。
6 みかりんってほんとあれだよね。なにがあれって、とくに頭があれだよね。
7 しねしねしねしねしねしねしねしねしねしねしねしねしね。
8 水野百合ちゃんが本当にかわいそう。あなたが最低でビッチなのはかまいませんが、
9 ゆりりんを汚す権利はあなたにはないはず。せめて死んでお詫びをしてください。
あんな動画をネットに流されて普通に生きていられるなんて、やっぱりヤリマンの人はちがいますね。動画は拡散されまくっているの、もう回収は不可能だし、あの動画はネット上にとどまり続けて何度も何度も再生されるのでしょうか。自業自得ですね。とはいえ、そんなことは、ヤリマンのあなたには大したことではないのでしょうか。まあ僕はあなたのファンではないので、どうでもいいんですけどね。これからも枕営業

がんばってください。

実果子、それらをじっと眺め、やがて、パソコンにむかう。

枝野、高村、安西は消えていて、園田と月島が再会している。

園田 おー、おつかれ。

月島 おつかれ。

園田 元気だった？

月島 まあ、思ったよりはね。

園田 いやあ、娑婆の空気はうまいねえ。

月島 ほんとにな。

園田 リアルに言うことになるとは思わなかったけど。

月島 そうだよな。

園田 まあ、これもいい経験だよな。……ってわけにはいかないけどね。

月島 うん。

園田 どうする、これから。

月島 うん。まあ、ちよつと考えるよ。

園田 うん。

月島 なんかさ、

園田 うん。

月島 だめだったな、俺たち。

園田 まあね。

月島 ごめんな。

園田 いや、もう、あやまんなよ、もうー。俺もだから。全然俺も同罪だから！ 二人でや

ってたんだからさ、そういうこというなよ。

月島 うん。ラブキャンデイはさ、斎藤ゆかりさんの。

園田 うん。

月島 また営業開始したんだってさ。

園田 ああ、うん。知ってる。またなんか、あちこちでぎゃんぎゃん言ってるんですよ。

月島 そう。

園田 相変わらず、元気だよな。

月島 そうだよな。

園田 しかもあれでしょ、従業員全部やめてからの、また募集してからの、営業開始。

月島 な。どこにそんなモチベーションあるんだろうな。

園田 ね。まあでも、俺たちは、俺たちのペースでやるしかないからさ。

月島 おう。

園田 ぶっちゃけさ、活動再開する気、ある？

月島 ぶっちゃけさ、していいと思う？ 俺たちが。

園田 わかんない。まあでも今日はさ、飲もうよ。

月島 おう。

月島と園田、去る。

パソコンに向かう実果子が浮かび上がる。

実果子

ハニーフラッシュさん、ずっとだましていて、本当にごめんさい。
大五郎さん、そういうのも当然かもしれませんが、でもわたしは自殺はしません。
ポッキーさん、わたしは死んで詫びるということはできませんが、ポッキーさんには
水野百合ちゃんのことにはファンとしてこれからも助けてあげてほしいです。
らくだ丸さん、嘘をついていたことに対しては謝ります。でもわたしはヤリマンであ
ることは、謝りません。

別の場所。石川と桜田が話している。

石川 あの、ありがとうございます。ほんとに、おかげさまで落ち着きました。
桜田 いや、全然。たまたまですから、たまたま丁度、知り合いが人探してて、
石川 助かりました。

力になれたならよかったです。僕も責任感じてたんで。

石川 いやそれは、別に、ほんと、桜田さんのせいじゃないですから。

桜田 いやでも僕も、いろいろ言ってたわけですし。

石川 でもそれは、

桜田 それに、その後、メールも滞ってしまっ

石川 まあそれは、ちよつと怒ってますけど。

桜田 すみません。

石川 はい。

桜田 あ、多分僕は、ちよつと思いをしていたんだと思います。めぐみさんと僕は、
同じ考え方ができるはずって思ってたので。全然違う考え方にびっくりしてしまっ
て、
石川 はい。

桜田 でも、あたりまえなんですよね。所属団体は全く逆の活動をしてたわけですし。

石川 もう、やめちゃいましたけどね。

桜田 そうですね。でも、僕はちよつと、めぐみさんにはその仕事を辞めてほしいって思っ
たんですけど、いざとなったら、思ってたより嬉しくはなかったです。

石川 そうですか。

桜田 今日、ラブキャンディさんから、僕たちの抗議文に対する抗議文がきました。
石川 え。

桜田 なんでもかんでもポルノのせいにするとか、あれもこれも全部おなじポルノだとひ
とくくりにするとか、そういう、めぐみさんの言っていたことと同じような内容で、
抗議文？ ラブキャンディが、ですか？ ポルノをみない男子の会に？

石川 はい。それを読んで、まわりの仲間はラブキャンディさんをものすごく悪く言っ

て、僕はなんか、それはちよつと違うんじゃないかって思ったんですけど、ああ、でも全
然僕もそうじゃないかって、思っ

めぐみさん、やっぱり僕は、全然フェアじゃなくて、怖がりで、面倒くさくて、すぐ相手にレッテルを貼ってしまう人間です。だから僕は、意見が違うめぐみさんに敵だというレッテルを貼ってしまった。そしてまた、めぐみさん自身のことを見失ってしまいました。僕は結局、めぐみさんのことをわかりあえる仲間だということだけで好きになって、違うと思ったとたん距離を置いてしまう、そういう人間だったんです。でも、あなたはそんな僕とちゃんと、関わろうとしてくれた。だから、感謝してます。ありがとうございます。

石川 いえ。わたしも、わたしだって、多分結局そうなんです。価値観が近い人と一緒にいたいし、意見がずれてもわかるわかっていって、ごまかして、仲間のふりをしちゃうところがあって、でも、そうじゃだめだって、桜田さんが、教えてくれたので。

桜田 いや僕は、全然、口だけの男です。
石川 まあそういうところも、ありますけど。
桜田 すみません。

でも、好きになってしまったので。桜田さんとわたしの価値観は、実はもしかしたら結構あわないんじゃないかって、思うんですけど、でも、桜田さんに会って、好きになって、自分はじつは、意見が違う人に対してリスpektすることが思った以上にできないのかもしれないって思いました。そして、そういう人間でありたくないと思いました。

桜田 僕もです。僕たちは恋人って距離は苦しいのかもしれないですけど、適切じゃないかもしれないって思うんですけど、でも、僕はあなたとやっていきたい。どんなにわかりあえなくても、対立しても、わかったふりをしたりしないで、無理やり自分の意見に染めようとしなくて、レッテルを貼らないで、意見のぶつかるあなたを対立するあなたを、リスpektしながらそばにいたいって思うんです。

石川 はい。いや、でも、できるでしょうか、そんなこと。

桜田 わかりません、けど、そう、できたらいいと、思います。

石川 そうですね。あの、

桜田 はい。

石川 おなか空きませんか？

桜田 空きました。

石川 とりあえず、ごはんでも、

桜田 いきましょう。

石川、桜田、手をつないで、去る。

パソコンに向かう実果子。

実果子 ユートピアさん。動画がネットに流されたのは、わたしにとってはすごく、ショックなことでした。わたしは、世間やファンをずっとだましていたので、それがばれて、非難をされていることに関しては自業自得で、謝るほかありません。すみませんでした。でも、だからと言って、動画がネットにあがったことを自業自得とは思いません。

わたしはとてもショックでしたし、普通に生きてるわけではありません。そして、水野百合ちゃんも本当は処女です。ピンクバー진은枕営業はしていません。

別の場所が浮かび上がる。

そこは、高村の部屋。篠崎がいるところに、高村が帰ってくる。

高村 ただいま。

篠崎 おかえり。元気だった？ 先輩。

高村 うん。あと逆に、結婚祝いしてもらった。

篠崎 あ、そう、よかったじゃん。

高村 うん。

篠崎 あのさ、このまえ、新しいバイトの人きたって言ったじゃん。

高村 あー、なんだっけ、店長の知り合いの知り合い的な？

篠崎 そうそう、その人。

高村 が、どうしたの。

篠崎 なんかね、超仕事できる。

高村 へえ。

篠崎 あとね、今日ひさしぶりに斎藤さんきて。

高村 え、うそ。どんなかんじだった。

篠崎 うん意外と、なんか、普通だったんだけど、

高村 へえ。

篠崎 でもやっぱちよっと気まずくて、

高村 え、そうなの？

篠崎 だって大騒ぎだったしさ。なに話したらいいかわかんないっていうか。

高村 まあすげーよな、今日もネットニュースに載ってたし。

篠崎 え。

高村 知らない？ 安達実果子のブログが炎上してて、それに返信する安達実果子がすごい、

篠崎 みたいな、

篠崎 なにそれ。

高村 ちよっとまって、これこれ。

篠崎がパソコンを覗き込む。と、別の場所に安西が浮かび上がる。

安西

返信を頂けると思っていたので、驚きました。ヤリマンでもネットに動画が流出したらショックなんです。興味深い。あなたはネットに動画があがっていることに対して、自業自得ではないといっています。僕には納得できません。あなたが嘘つきのヤリマンじゃなかったら、こんなことにはなっていないかったです。う。ですからやはり、自業自得なのだと思いますよ。

実果子 何度もコメントありがとうございます。確かにわたしは、嘘つきのヤリマンですが、ヤリマンだからといって、痴漢されても、レイプされても、盗撮された動画がネット

で配信されても、自業自得という社会にはしてはいけないと思います。だからわたしは、そのことは自業自得だとは思いません。盗撮は犯罪です。その罪はされた人ではなく、した人にあるべきです。

安西 それは、その盗撮した相手が、あなたより、悪いということでしょうか。

実果子 わたしより悪いかどうかはわかりません。わたしの悪さとその人の悪さは全然別です。

それから、わたしが動画流出に対してショックなのは、動画が拡散されたことよりも、

その人が、その動画をネットにあげたということです。

安西 その相手は、あなたにとってどういう相手だったんですか。

実果子 わかりません。

安西 あなたは、その相手をいま、どう思っていますか。

実果子 わたしはいま、その相手に触りたいと思っています。

そこは本屋。舞と村野がいる。

舞 あの、今日はすみませんでした。

村野 あ、いや、全然大丈夫ですよ。全然そんな、大きなミスとかじゃないんで。

舞 いや、でも、

村野 新人さんも入って、ばたばたしてましたし。久しぶりでしたしね。

舞 はい。ていうか、それもすみません。ほんと、長くお休みいただいて。

村野 いやいやそれは本当に、仕方ないっていうか。ほんと、大変でしたし。

舞 いや。あの、あと、嘘ついて、すみませんでした。動画、とか。

村野 いや、それは、もう。ていうか、大丈夫ですか。妹さんは。

舞 あ、はい。なんかいまはずっと、ブログのコメントの返信をかいて、

村野 ネットでみました。すごいですね。ブログのコメント一万超えたとかって、

舞 いやもう、ほんと、どこまでやるんだって感じですけど、でもあんなっちゃったらもう、

村野 仕方ないですよ。本人は、自分は流されやすいと思ってるみたいなんですけど、

舞 全然そんなことなくてほんと、頑固で。言い出したら聞かないですよ。むかし

村野 から。しつこくて、粘着質で、あきらめが悪くて、強欲で、わがままで、

舞 へえ

村野 あ、なんかすみません。

舞 いや。でも、心配じゃないですか。ネガティブなコメントが多いみたいですし。

村野 そうですね。

舞 僕は、僕なんかはそんなに、そこまでやらなくてもいいんじゃないかって思うんです

村野 けど。コメントの内容とか、ほんと、ひどいじゃないですか。そんなの一つ一つ相

舞 手にしてても仕方ないっていうか、どうせわかんないと思うんですよ、そういう人

村野 たちには。だからそんなに、そこまで、

舞 でも、わかんないじゃないですか。わかんないかどうかは。ていうか、どんなに仲よ

村野 くても、家族でも、わかりあえない部分ってあるから、だからやっぱ、わからない

舞 人のことはいっていつちやったら、誰のことも、切り捨てちゃうことにつながる

村野 思うんですよ。

村野 舞

いや、まあ、わかりますけど、でもそれはさすがに極論っていうか。

そうなんですけど、極論なんですけど、でも、ずっと考えてて、やっぱりすごいって、思うんです。わたし。人と関わるって、怖いじゃないですか。好かれるって、好かれたいって怖いじゃないですか。でもあの子は、道行く人にも好かれたくて、誰のことも諦められなくて、すごいなって思うんです。わたしは全然そういうの、だめなんです。でもわたしも、あの子みたいにはできないですけど、でも、少しでも、見習いたいっていうか、だから、あの、つまり……村野さん、

村野 舞

はい。

村野 舞

わたし、村野さんに言いたいことがあって。

村野 舞

え。

村野 舞

聞いてもらっていいですか。

村野 舞

はい。

村野 舞

あの、ほんと、いまさらなんですけど、

村野 舞

はい

村野 舞

あの、わたし、……処女です。

村野 舞

え？

村野 舞

はい。

村野 舞

え、え??

村野 舞

処女なんです。

村野 舞

あ、いや、え、あ、あの、

村野 舞

すみません。

村野 舞

いや、あの、大丈夫です、その、僕もです。

村野 舞

え？

村野 舞

あ、童貞です。

村野 舞

知ってます。

村野 舞

そうですよね。

村野 舞

あと好きです。

村野 舞

え？ ……あの、僕もです。

実果子

その人のことをどう思っているのかは自分でもよくわかりません。

憎いような、申し訳ないような気持ちです。カメラはいつしかけたんだろうとか、どうして、そんなことしたんだろうとか、わたしのことをあの時どう思っていたのだろうとか、いまだどう思っているんだろうとか、考えます。傷つけたのであれば謝りたいような気持ちと、反対に謝らせたいような気持ちがあります。

つまりよくわかりません。だから、その人に触りたいです。

その人が、わたしのことがこわいのかどうか、わたしに触って試したことがありません。

そのときみたいに、わたしも、その人に触って試したいです。わたしがその人をどう思っているのか。その人だけじゃなくて、わたしが裏切ったファンのひとりひとりに触って、試して、わたしのことを知りたいです。そしてわたしのことを知ってほしい

です。

さとるんさん、なんどもコメントありがとうございます。なんども言いますが、わたしは自殺はしません。そしてわたしは、ヤリマンであることは、謝りません。ステイブさん、水野百合ちゃんのソロ活動はわたしも応援しています。じぶんのしたことはわかっているつもりですが、死ぬつもりはありません。しかし、やれる限りのことはやりたいと思っています。

マツタケさん。励ましのコメント、ほんとにありがとうございます。すぐくうれいんです。励みになります。

たけし48号さん、がっかりさせてしまって本当にすみませんでした。そうです。わたしはヤリマンです。でも、わたしはヤリマンであることを恥ずかしいとは思いません。

ユートピアさん、わたしはあなたに、触りたいと思っています。

返信をする実果子を、見つめる安西。

返信をする実果子の声が、だんだんと音楽で消えていき、明りが消える。

終幕。